LS-6970DN
プリンタドライバ

操作手順書

使用条件

このガイドのすべて、または一部を許可なく複製することは禁じられています。

このガイドに含まれる情報は、性能改善のため、予告なく変更される場合があります。

ここに記載された情報には関係なく、本製品の使用に伴って生じたいかなる問題にも、当社は責任を負いません。

商標について

- Microsoft Windowsは、米国またはその他の国におけるMicrosoft Corporationの商標です。KPDLは、Kyocera Corporationの商標です。PCLは、Hewlett-Packard Companyの商標です。TrueTypeは、Apple Computer, Incの登録商標です。
- ここで使用されているブランド名、および製品名はすべて、それを所有する各企業の登録商標、または商標です。

このガイドで示されている操作例は、Windows XPの印刷環境に基づいています。基本的に、Microsoft Windows Vista、Windows Server 2008、およびWindows 2000の環境と操作方法は同じです。

このガイドに掲載されているUIのキャプチャ画面は、お使いのプリントデバイスの環境とは異なる場合があります。

KXプリンタドライバ対応機種

LS-6970DN

Copyright © 2009 KYOCERA MITA Corporation
All Rights Reserved.

目次

1 インストール

2 デバイス設定

3 簡単設定

4 基本設定

5 レイアウト

6 印刷品質

10 プロファイル

1 インストール

プリンタドライバは、プリンタと PC 間の通信を制御するアプリケーションです。インストールが完了したら、プリンタの**[**プロパティ**]**および**[**印刷設定**]**でプリンタドライバの設定を設定します。

こうした機能は、インストールを行うことで利用可能となります。

参考: Windows Vista、Windows XP、およびWindows 2000 でプリンタドライバをインストールする場合は、管理者権限を持ったユーザでログインする必要があります。プリンタドライバのインストールを行う前に、USB(ユニバーサルシリアルバス)ケーブルがすでに接続されている場合は、[新しいハードウェアの検出]ウィザードをキャンセルして、**[Product Library CD]** のメニューからドライバのインストールを行ってください。CDの中身を確認しながら、各ドライバを個別にインストールすることは、お勧めできません。

ドライバのインストール準備

このセクションでは、プリンタドライバをインストールする前の準備、およびオペレーティングシステムごとのインストール手順について説明します。

1 PCとプリンタの電源を入れます。USB接続がある場合、Windowsの**[**新しいハードウェアの検出**]**が開きます。**[**キャンセル**]** をクリックします。

2 **[Product Library CD]**を CD ドライブに入れます。

インストールウィザードが起動すると、**[**メインメニュー**]**が開きます。

参考: **Product Library CD** をCDドライブに入れても **Product Library** が起動しない場合は、Windowsのエクスプローラを使用して CD の **Setup.exe** をダブルクリックして起動します。

3 **[**使用許諾を表示**]** をクリックして、使用許諾契約書を読みます。

4 **[**同意する**]** をクリックして、次に進みます。

5 インストールを開始するには、**[**ソフトウエアのインストール**]**ウィザードをクリックします。

参考: インストール中に**[Windows** セキュリティ**]**警告ダイアログボックスが表示された場合は、**[**このドライバのインストールを継続する**]**をクリックします。

6 **[**インストール**]**ウィザードが開きます。

インストール手順は、お使いのオペレーティングシステムや接続方法によって異なります。次のリストからオペレーティングシステムおよび接続方法を選択して参照ページに進み、インストールを続行します。

高速インストール

カスタムインストール

参考: **[KPrint]**を選択すると、クライアントのポートモニタがインストールされ、Windows TCP/IPはプリンタに接続されたどのネットワークカードからでも印刷できるようになります。KPrintは、LPR印刷とIPP印刷をサポートしています。**KPrint**のインストール手順については、**Product Library CD**をご覧ください。**KPrint** は、スタンドアロンのインストーラを使用します。

ユーティリティのインストール

[インストール方法**]**ページで、**[**ユーティリティ**]**をクリックして、ユーティリティをインストールします。インストールするユーティリティは、カスタムインストール手順からも選択することができます。

ドライバコンポーネントのアップグレード

インストールウィザードで古いドライバコンポーネントが検出された場合、**[**ソフトウェアコンポーネントのアップグレード**]** ページが表示されます。

1. アップグレードするコンポーネントを選択します。**[**次へ**]** をクリックします。
2. アップグレードの設定を確認します。**[**アップグレード**]** をクリックして、アップグレードを開始します。
3. アップグレードが完了したら、**[**次へ**]** をクリックします。**[**インストール方法**]**のページが表示されます。

高速モード

高速モード は、USBまたはネットワーク接続用のドライバインストールの場合にのみ利用することができます。インストールウィザードにより、USBまたはネットワークケーブルで接続されている、電源の入った京セラ製のプリンタが確認されます。**[**カスタムモード**]** では、インストールパッケージを選択したり、ポートを指定することができます。

Windows VistaおよびWindows XPでのインストール

このセクションでは、Windows XPおよびWindows Vista上でドライバソフトウェアをすばやくインストールする手順について説明します。

1. お使いのプリンタとPCの電源が入っていて、USBケーブル、またはネットワークケーブルで接続されていることを確認してください。

参考: **[**新しいハードウェアの検出**]**ダイアログボックスが開いた場合は、**[**キャンセル**]**をクリックします。**[**ハードウェアのインストール**]**警告ダイアログボックスが開いたら、**[**続行**]**をクリックします。

---

2 **[**インストール方法**]**ページで、**[**高速モード**]**を選択します。

3 **[**プリントシステムを検索**]**画面が開き、プリンタを探すことができます。[検索]で目的のプリンタが見つからなかった場合、メッセージが表示されます。USBまたはネットワークケーブルを取り外し、再度挿入してそれらが適切に接続されているか確認します。**[**更新**]**をクリックして、再度プリンタを検索します。それでもプリンタが見つからない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

検索でプリンタが見つかった場合は、プリンタ名をクリックして選択します。

4 **[**ポート名にホスト名を使用**]**を選択して、標準TCP/IPポートのホスト名を使用するように設定することもできます。インストールウィザードの表示がまだIPアドレスになっている場合は、システム管理者にお問い合わせください。*(USB*接続は利用できません。*)*

5 IPアドレス、ホスト名、プリンタ機種、お問い合わせ、場所、シリアル番号の詳細を確認したい場合は、**[**情報**]**をクリックします。**[OK]** をクリックします。**[**次へ**]**をクリックします。*(USB*接続は利用できません。*)*

6 **[**インストール設定**]**画面で、プリンタに名前を付けることができます。

また、このプリンタを他のユーザと共有したり、デフォルトのプリンタとして設定することも可能です。必要な項目を選択し、**[**次へ**]** をクリックします。

7 **[**設定の確認**]** ページで、設定内容が正しいことを確認し、**[**インストール**]** をクリックします。設定を訂正する場合は、**[**戻る**]** をクリックします。

8 インストール完了画面が表示され、以下のドライバオプションが表示されます。

テストページを印刷

この機能をはプリンタとの接続状態を検証して、インストールされているドライバコンポーネントの一覧を印刷出力します。

簡単設定タブを表示する

この機能は、よく使用する印刷設定をプロファイルとしてグループに定義し、印刷時に簡単に呼び出して使用することを可能にします。**[**簡単設定タブを表示する**]** オプションは、**[**デバイス設定**]** タブの **[**管理者設定**]** でも表示されます。

ステータスモニタを有効にする

[ステータスモニタ**]**は、印刷時にお使いのパソコンのモニタに、プリンティングシステムの状況が表示されます。**[**拡張機能**]**タブには、**[**ステータスモニタ**]**ボタンが表示されます。

デバイス設定

[デバイス設定**]**を選択すると**[**デバイス設定**]**タブが開き、プリンタに合わせてインストールされているオプションを選択することができます。(**Windows Vista**、またはUSB 接続されている環境では、**[**デバイス設定**]** チェックボックスは表示されません。)

インストールが正常に終了したら、**[**終了**]**をクリックしてインストールウィザードを終了し、**[Product Library CD]**メニューに戻ります。

ソフトウェアのインストールに失敗すると、次のメッセージが表示されます。

> 1つ以上のソフトウェアのインストールが失敗しました。

[完了**]** をクリックして、再度インストールしてください。同じメッセージが再び表示された場合は、システム管理者にお問い合わせください。

これで、プリンタのインストールが完了しました。必要に応じて、パソコンを再起動してください。

カスタムインストール

[カスタムモード**]** は、必要に応じてユーティリティをインストールするオプションです。プリンタポート、フォント、インストールするユーティリティを指定することができます。

Windowsオペレーティングシステムと一緒に出荷されたプリンタドライバはミニドライバと呼ばれます。このミニドライバは、PCLとKPDLのそれぞれ向けに用意されており、お使いのプリンタでも基本的な機能を利用することができます。このユーザガイドでは、ミニドライバの機能について説明しておりません。

USB接続されたWindows VistaおよびWindows XPでのインストール

このセクションでは、USB接続されたWindows VistaおよびWindows XP上で、ドライバソフトウェアをカスタムインストールする手順について説明します。

1 お使いのプリンタとPCが、USBケーブルで接続されていることを確認してください。

2 **[**インストール方法**]** ページで、**[**カスタムモード**]** を選択します。

3 **[**プリントシステムを検索**]** ページが開き、**[**検索**]** がオンになって表示されます。このオプションを使用するか、または**[**ユーザ選択**]**オプションを選択します。

[検索**]**オプションを使用すると、ドライバインストールで使用可能なすべてのデバイスを検索できます。このオプションを使用する場合、手順4に進みます。

[ユーザ選択**]**オプションを使用すると、インストールするプリントシステムおよびプリンタポートを選択できます。手順6に進みます

[検索**]**で目的のプリンタが見つからなかった場合、メッセージが表示されます。プリンタが適切なケーブルで接続されており、電源が入っていることを確認してから、メッセージボックスを閉じます。USBケーブルを取り外し、再度コンピュータに挿入してプリンタを探してください。それでもプリンタが見つからない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

4 **[**検索**]**で1つ以上のUSBプリントシステムが見つかった場合は、リストからモデルを選択します。**[**次へ**]**をクリックします。

5 **[**カスタムインストール**]** ページで、**[**ドライバ**]** および **[**ユーティリティ**]** タブからインストールするドライバとソフトウェアパッケージを選択し、インストールしないものはオフにします。**[**次へ**]**をクリックします。手順10に進みます。

6 **[**プリントシステム**]**ページでモデルを選択して、**[**次へ**]**をクリックします。

7 **[**プリンタポート**]**ページで、お使いのプリンタに接続されているポートを選択します。**[**次へ**]**をクリックします。

8 **[**カスタムインストール**]** ページで、**[**ドライバ**]** および **[**ユーティリティ**]** タブからインストールするドライバとソフトウェアパッケージを選択し、インストールしないものはオフにします。**[**次へ**]**をクリックします。

9 **[**プリンタ設定**]**ページで、プリンタに名前を付けることができます。また、このプリンタを他のユーザと共有したり、デフォルトのプリンタとして設定することも可能です。必要な項目を選択し、**[**次へ**]** をクリックします。

10 **[設定の確認]** ページで、設定内容が正しいことを確認し、**[インストール]** をクリックします。設定を訂正する場合は、**[戻る]** をクリックします。

参考： [ハードウェアのインストール]警告ダイアログボックスが開いたら、[続行]をクリックします。

11 **[インストールが完了しました]**画面が表示され、以下のドライバオプションが表示されます。

テストページを印刷

この機能をはプリンタとの接続状態を検証して、インストールされているドライバコンポーネントの一覧を印刷出力します。

簡単設定タブを表示する

この機能は、よく使用する印刷設定をプロファイルとしてグループに定義し、印刷時に簡単に呼び出して使用するを可能にします。**[簡単設定タブを表示する]** オプションは、**[デバイス設定]** タブの **[管理者設定]** にも表示されます。

ステータスモニタを有効にする

[ステータスモニタ]は、印刷時にお使いのパソコンのモニタに、プリントシステムの状況が表示されます。**[拡張機能]**タブには、**[ステータスモニタ]**ボタンが表示されます。

インストールが正常に終了したら、**[終了]**をクリックしてインストールウィザードを終了し、**[Product Library CD]**メニューに戻ります。

ソフトウェアのインストールに失敗すると、次のメッセージが表示されます。

```
1つ以上のソフトウェアのインストールが失敗しました。
```

[完了] をクリックして、再度インストールしてください。同じメッセージが再び表示された場合は、システム管理者にお問い合わせください。

以上で、プリンタのインストールが完了しました。必要に応じて、パソコンを再起動してください。

ネットワーク接続された**Windows Vista**および**Windows XP**でのインストール

このセクションでは、ネットワーク接続されたWindows VistaまたはWindows XP上でドライバソフトウェアをカスタムインストールする手順について説明します。

1 お使いのプリンタとPCが、ネットワークに接続されていることを確認してください。

2 **[インストール方法]** ページで、**[カスタムモード]** を選択します。

3 **[プリントシステムを検索]** ページが開き、**[検索]** がオンになって表示されます。高速インストールを行うには、**[検索]**でプリントシステムを探して高速インストールの手順に従います。あるいは、**[ユーザ選択]**を選択して**[次へ]**をクリックし、カスタムインストールを続行できます。

4 **[プリントシステム]** ページでモデルを選択して、**[次へ]** をクリックします。

5 **[プリンタポート]**ページで、お使いのプリンタに接続されているポートを選択するか、**[ポートの追加]**をクリックしてシステムに接続されているポートを追加します。**[次へ]**をクリックします。

6 [カスタムインストール] ページで、[ドライバ] および [ユーティリティ] タブからインストールするドライバとソフトウェアパッケージを選択し、インストールしないものはオフにします。[次へ]をクリックします。

7 [プリンタ設定]ページで、プリンタに名前を付けることができます。また、このプリンタを他のユーザと共有したり、デフォルトのプリンタとして設定することも可能です。必要な項目を選択し、[次へ] をクリックします。

8 [設定の確認] ページで、設定内容が正しいことを確認し、[インストール] をクリックします。設定を訂正する場合は、[戻る] をクリックします。

参考: [ハードウェアのインストール]警告ダイアログボックスが表示された場合は、[続行]をクリックします。

9 [インストールが完了しました]画面が表示され、以下のドライバオプションが表示されます。

テストページを印刷

この機能をはプリンタとの接続状態を検証して、インストールされているドライバコンポーネントの一覧を印刷出力します。

簡単設定タブを表示する

この機能は、よく使用する印刷設定をプロファイルとしてグループに定義し、印刷時に簡単に呼び出して使用するを可能にします。[簡単設定タブを表示する] オプションは、[デバイス設定] タブの [管理者設定] にも表示されます。

ステータスモニタを有効にする

[ステータスモニタ]は、印刷時にお使いのパソコンのモニタに、プリントシステムの状況が表示されます。[拡張機能]タブには、[ステータスモニタ]ボタンが表示されます。

デバイス設定

[デバイス設定]を選択すると、[デバイス設定]タブが開き、プリンタに合わせてインストールされているオプションを選択することができます。([デバイス設定]チェックボックスは、Windows XPでのみ表示されます。)

インストールが正常に終了したら、[終了]をクリックしてインストールウィザードを終了し、**[Product Library CD]**メニューに戻ります。

ソフトウェアのインストールに失敗すると、次のメッセージが表示されます。

1つ以上のソフトウェアのインストールが失敗しました。

[完了] をクリックして、再度インストールしてください。同じメッセージが再び表示された場合は、システム管理者にお問い合わせください。

以上で、プリンタのインストールが完了しました。必要に応じて、パソコンを再起動してください。

パラレル接続された**Windows Vista**および**Windows XP**でのインストール

このセクションでは、パラレル接続されたWindows VistaおよびWindows XP上でドライバソフトウェアをカスタムインストールする手順について説明します。

1 お使いのプリンタとPCの電源がオンになっており、パラレルケーブルで接続されていることを確認してください。

2 [インストール方法] ページで、[カスタムモード] を選択します。

3 [プリンタを探す] ページが開き、[検索] がオンになって表示されます。[ユーザ選択] オプションをオンにして、[次へ] をクリックします。

4 [プリントシステム]ページでモデルを選択して、[次へ]をクリックします。

5 [プリンタポート]ページで、お使いのプリンタに接続されているローカルポートを選択します。[次へ]をクリックします。

6 [カスタムインストール] ページで、[ドライバ] および [ユーティリティ] タブからインストールするドライバとソフトウェアパッケージを選択し、インストールしないものはオフにします。[次へ]をクリックします。

7 [プリンタ設定]ページで、プリンタに名前を付けることができます。この名前は、Windows の [プリンタと **FAX**] 、およびアプリケーションのプリンタリストに表示されます。また、このプリンタを他のユーザと共有したり、デフォルトのプリンタとして設定することも可能です。必要な項目を選択し、[次へ] をクリックします。

8 [設定の確認] ページで、設定内容が正しいことを確認し、[インストール] をクリックします。設定を訂正する場合は、[戻る] をクリックします。

参考: [ハードウェアのインストール]警告ダイアログボックスが開いたら、[続行] をクリックします。

9 [インストールが完了しました]画面が表示され、以下のドライバオプションが表示されます。

テストページを印刷

この機能をはプリンタとの接続状態を検証して、インストールされているドライバコンポーネントの一覧を印刷出力します。

簡単設定タブを表示する

この機能は、よく使用する印刷設定をプロファイルとしてグループに定義し、印刷時に簡単に呼び出して使用することを可能にします。[簡単設定タブを表示する] オプションは、[デバイス設定] タブの [管理者設定] にも表示されます。

インストールが正常に終了したら、[終了]をクリックしてインストールウィザードを終了し、**[Product Library CD]**メニューに戻ります。

ソフトウェアのインストールに失敗すると、次のメッセージが表示されます。

1つ以上のソフトウェアのインストールが失敗しました。

[完了] をクリックして、再度インストールしてください。同じメッセージが再び表示された場合は、システム管理者にお問い合わせください。

以上で、プリンタのインストールが完了しました。必要に応じて、パソコンを再起動してください。

プリンタドライバオプション

[Product Library CD] > [拡張ツール]メニューからオプションコンポーネントをインストールすることにより、プリンタドライバの機能を拡張することができます。

プリンタドライバオプションのインストール

1 **[Product Library CD]**メニューで、[拡張ツール]を選択します。

2 [拡張ツール]画面で、[プリンタドライバオプション]を選択します。

3 プリンタを選択し、[次へ]をクリックして追加コンポーネントをインストールします。

4 次のすべての[選択]画面でコンポーネントを選択し、[次へ]をクリックします。

5 [設定の確認]画面で、表示された設定内容が正しければ、[インストール]をクリックします。設定を訂正する場合は、[戻る]をクリックします。

6 [プリンタコンポーネントのインストールが完了しました。]画面が開きます。[終了]をクリックします。

プリンタと追加コンポーネントのインストールが完了した後、PC の再起動の指示が表示された場合は、PC を再起動してください。

プリンタの追加ウィザードでのインストール

[プリンタの追加]ウィザード] では、プリンタのインストール手順を、順を追ってウィザード形式で表示します。画面にしたがって選択や決定を行い、インストールを完了してください。

Windows Vistaでのインストール

このセクションでは、[プリンタの追加] ウィザードを使用して、Windows Vistaにプリンタドライバをインストールする手順について説明します。

1 画面の下部にあるWindowsのタスクバーから、[スタート] アイコンをクリックします。

2 [スタート] ウィンドウで、[コントロールパネル] をクリックします。

3 [コントロールパネル]で、[プリンタ]をクリックします。

4 [プリンタ]ウィンドウのツールバーで、[プリンタの追加]をクリックします。

5 [プリンタの追加]ウィザード が開きます。ウィザードが指示する手順に従い、ドライバをインストールします。[ローカルプリンタの追加] または [ネットワーク、ワイヤレス、またはBluetoothプリンタの追加] のいずれかをクリックします。各ページの指示に従い、[次へ] をクリックして次のページに進みます。

参考: [Windows セキュリティ]警告ダイアログボックスが表示された場合は、[このドライバのインストールを継続する]をクリックします。

6 ウィザードの最後のページに、選択したプリンタが正常に追加されたというメッセージが表示されます。これで、プリンタドライバのインストールが完了しました。新たにインストールしたプリンタからテスト印刷を行いたい場合は、[テストページの印刷] をクリックします。[プリンタの追加]ウィザードを閉じるには、[完了] をクリックします。

Windows XPおよびWindows 2000でのインストール

このセクションでは、Windows XPまたはWindows 2000で、[プリンタの追加ウィザード] を使用してプリンタドライバをインストールする方法について説明します。

1 Windowsのタスクバーの **[**スタート**]** をクリックして、**[**コントロールパネル**]** をクリックします。

2 Windows の **[**プリンタと **FAX]** をクリックして、Windows の **[**プリンタと **FAX]** ウィンドウを開きます。

3 左側のウィンドウ部分で、**[**プリンタのインストール**]** をクリックします。

参考**:** **[**プリンタの追加**]**は、Windows の**[**プリンタと **FAX]**ウィンドウの[ファイル]メニューから、**[**プリンタの追加**]**をクリックして開始することもできます。

4 **[**プリンタの追加ウィザード**]** が開きます。ウィザードの手順に従い、ドライバをインストールします。各ページの指示に従い、**[**次へ**]** をクリックして次のページに進みます。

参考**:** **[**新しいハードウェアの検出**]**ウィザード ページが開いた場合は、**[**キャンセル**]** をクリックします。**[**ハードウェアのインストール**]**警告ダイアログボックスが開いたら、**[**続行**]** をクリックします。

5 **[**プリンタの追加ウィザードの完了**]** ページが開くと、プリンタドライバのインストールは完了です。[プリンタの追加]ウィザードを閉じるには、**[**完了**]** をクリックします。指示された場合は、パソコンを再起動してください。

2 デバイス設定

[デバイス設定]タブでは、インストールされているプリンタのオプションを選択して、関連機能をプリンタドライバで利用できるようにすることができます。さらに、ドライバのメモリ設定をお使いのプリンタにインストールされたメモリと合わせることができるため、ドライバはフォントのダウンロードをより効率的に管理できるようになります。また、[管理者設定]、[ユーザ設定]、[PDL(ページ記述言語)]の設定、[互換性]設定も選択することが可能です。

これらの機能は、**[デバイス設定]** タブで使用できます。

デバイス設定タブの使用

[デバイス設定] タブは、**[プリンタ]**(Windows Vistaの場合)、またはWindows の**[プリンタと FAX]**(Windows XPの場合) フォルダから開きます。

1 **[スタート]**をクリックして、**[コントロールパネル]**を選択し、**[プリンタ]** (Windows Vistaの場合)、またはWindowsの**[プリンタとFAX]**(Windows XPの場合)をクリックします。

2 **[プリンタ]**アイコンを右クリックして、[プロパティ] をクリックします。

3 **[**デバイス設定**]** タブをクリックします。

デバイスオプション

オプション機器の追加を行うと、給紙や仕上げ、印刷ジョブの保存などで本体の機能を拡張することができます。

クライアント/サーバ環境では、制限されたユーザとしてログインしたクライアントはこの機能を利用することができません。

オプションの設定

お使いのプリンタにインストールされているオプションに合うように、プリンタドライバを設定することができます。

1 **[**プリンタのプロパティ**]** ダイアログボックスで、**[**デバイス設定**]** タブをクリックします。

2 **[**デバイス設定**] > [**使用できるオプション**]** で、インストールされているすべてのオプションのチェックボックスをオンにします。

自動設定

自動設定は、プリンタがネットワーク経由で接続されている場合に、プリンタにインストールされているオプション機器を自動設定します。お使いのコンピュータがTCP/IPポート経由でプリンタに接続されている場合は、**[**デバイス設定**]** タブに **[**自動設定**]** ボタンが表示されます。**[**自動設定**]**ボタンを押すと、**[**デバイスのオプション**]** リストとプレビュー画像が更新され、プリンタシステムの設定をプリンタドライバに自動的に反映させます。

[自動設定**]**を使用しても、インストールされているすべてのオプション機器が自動設定されるわけではありません。設定内容が正しいことを確認してから、**[**デバイス設定**]** タブで **[OK]** をクリックします。

参考: Windows XP Service Pack 2では、Windowsのファイアウォールはデフォルトで オン に設定されています。プリンタとPC間の通信を許可するように、設定を変更することも可能です。Windowsの**[**セキュリティの警告**]** ダイアログボックスで、**[**禁止の解除**]**をクリックします。

サイレント自動設定

[サイレント自動設定**]** オプションをオンにすると、ドライバは10分おきにプリンタをチェックして、追加されたオプション機器やメモリに変更がないかどうかを確認します。変更が検出されると、ドライバは自動的に新しい設定に更新されます。**[**サイレント自動設定**]**は、プリントシステムのWindows Vista OSがネットワークに接続されている場合にのみ利用可能となります。

クライアント/サーバ環境では、制限ユーザとしてログインしたクライアントはこの機能を利用することができません。

自動設定の有効化

[自動設定**]** ボタンを使用すると、プリンタがTCP/IPポート経由でネットワークに接続されている場合に接続されているオプション機器を自動設定することができます。

1 各オプション機器がプリンタに正しく接続され、プリンタの電源がオンになっており、印刷する準備が整っていることを確認してください。

2 **[**デバイス設定**]** タブで、**[**自動設定**]** をクリックします。

Windows 2000およびWindows XPでは、ドライバの設定がただちに更新されます。

Windows Vistaでは、**[**自動設定**]** ダイアログボックスが開きます。[自動設定]オプションから選択します。

自動設定の開始

プリンタの現在の設定を取得するには、ボタンをクリックします。この操作は、ドライバを最初にインストールしたときや **[**サイレント自動設定**]** オプションがオフになっているときに行ってください。

サイレント自動設定

プリンタへのオプション機器やメモリの追加を、10分おきに自動的に確認するときに選択します。これらの変更が確認されると、ドライバ設定も自動的に更新されます。

メモリ

メモリは、プリントシステムに搭載された標準メモリとオプションメモリの合計容量です。デバイスのフォントのダウンロード速度を最大限にするためには、ドライバの設定がデバイスメモリの合計容量に一致するように設定しなければなりません。

メモリの設定

デフォルトでは、メモリ 設定はデバイスの標準メモリと一致するようになっています。オプションメモリを設置した場合は、プリンタドライバのメモリ設定がデバイスのメモリ容量と同じになるように設定してください。

1 プリントシステムに追加のDIMMメモリを装着します。

2 **[**デバイス設定**] > [**メモリ**]** で、装着したメモリの容量を設定します。

自動設定 機能を利用すると、プリンタからメモリ情報を取得することができます。

RAMディスク

RAMディスクは、仮想ハードディスクとして機能し、ハードディスクが搭載されていない場合に印刷要求をプリンティングシステムのメモリに保存します。RAMディスクは揮発性メモリのため、デバイスに送信されたデータはすべて、電源が落とされると消失します。

参考: ハードディスクが搭載されている場合は、RAMディスクの機能は無効となります。

[互換性設定**]** ダイアログボックスから **[**ドライバの部単位設定を優先する**]** を選択すると、ドライバのページ設定が使用されます。そのため、RAMディスクは、印刷ジョブを1回送信するだけで、複数の部単位を印刷する際の速度を上げることが可能となります。

クライアント/サーバ環境では、制限されたユーザとしてログインしたクライアントはこの機能を利用することができません。

RAMディスクの設定

RAMディスクを設定すると、ハードディスクが装着されていない場合に、印刷要求をプリンティングシステムのメモリに保存することができます。

1 **[**デバイス設定**] > [**使用できるオプション**]** で**[RAM**ディスク**]**を選択し、RAMディスクのサイズを設定します。

2 プリンティングシステムの操作パネルで、RAMディスクをオンにして、サイズを設定します。

RAMディスクの最大サイズは、搭載されているメモリの容量によって異なります。

管理者設定

[管理者設定**]**では、ログインユーザ名および部門コード IDの指定、**[**簡単設定**]**タブの表示、**[SNMP**設定**]**の選択、アクセスを制御するパスワードの設定などを行います。

クライアント/サーバ環境では、制限ユーザとしてログインしたクライアントはこの機能を利用することができません。

部門管理

部門管理によって管理者はプリントシステムの使用を制御することができます。部門管理を使用して、ユーザあるいは部署に部門コード (識別番号) 、特定の部門コードを割り当てたり、あるいは印刷の際に必ず入力しなければならない部門コードを作成したりできます。部門コードを作成すると、プリントシステムの操作パネルから、特定のコードに関連付けられている印刷枚数を確認したり、部門コードごとに印刷枚数を制限できるようになります。部門コードは、最大8桁まで指定可能です

参考**:** プリントシステムで**[**部門管理**]**をオンにする必要があります。部門コードはプリンティングシステムに最大100件まで割り当てることができ、プリンタドライバに保存されます。

部門管理オプション

部門管理では、次の設定が行えます。

特定のコードを使用

このオプションでは、部門コードを使用してユーザまたはグループの印刷ジョブを管理します。各印刷ジョブごとに部門コードが送信されます。管理者は、**[**管理者設定**]** ダイアログボックスで **[**管理者設定を保護する**]** をオンにしてユーザあるいはグループが部門コードを変更しないように制限できます。

印刷時にコードを入力

このオプションでは、部門コード を入力するよう求めるだけでなく、部門コードを使用してユーザまたはグループの印刷ジョブを管理します。印刷ジョブが送信されるとき、ユーザは部門コード ID を入力するよう求められます。

印刷時にコードを入力(コードリストの確認)

このオプションでは、ドライバに保存された部門コードを指定するよう求められます。印刷ジョブを送信する際、プロンプトが表示されたら部門コードを入力し、**[OK]** をクリックして印刷します。部門コードは、部門コードリストと照合されます。入力を間違えた場合は、もう一度部門コードを入力するよう求められます。

印刷時にコードリストから選択

このオプションでは、印刷時に部門コードリストを表示します。ユーザまたはグループに印刷ジョブを割り当てることができます。部門コードはドライバに保存され、リストを表示するには1 つ以上の ID を作成しておく必要があります。

登録コードリスト

このオプションでは、部門コードを表示して、部門コードリストを管理します。ドライバに保存されているリストの部門コードを追加、編集、または削除できます。部門コードの説明は、部門コードによってユーザまたはグループと照合されます。このリストをまとめて、テキストファイル(.CSV)にエキスポートして保存できます。保存されているテキストファイル(.csv)を選択し、プリンタドライバに読み込みます。

部門コードでの印刷

部門コードを割り当てて、デバイスで部門管理を **[オン]** に設定すると、印刷したページ数が選択した部門コードの合計数に加算されます。

1 **[デバイス設定]** タブで、**[管理者設定]** をクリックします。

2 **[管理者設定]** ダイアログボックスから、**[部門管理]** を選択します。

3 次の 部門管理 オプションを選択します。

特定のコードを使用

印刷時にコードを入力

印刷時にコード゛を入力（コードリストの確認）

印刷時にコードリストから選択

4 **[登録コードリスト]** を選択して、登録コードリストを作成、管理します。

5 ダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

6 アプリケーションから文書を印刷します。

7 オプションによっては、**[印刷オプション]** ダイアログボックスが開くので、登録コードリストを選択して、**[OK]** をクリックします。

簡単設定タブを表示する

このオプションでは、**[簡単設定]** タブを表示するかを選択できます。基本的な印刷設定をプロファイルに設定しておくと、簡単に早く印刷を行えます。

- **[簡単設定タブを表示する]** チェックボックスをオフにすると、**[印刷設定]** ダイアログボックスにタブは表示されません。
- **[簡単設定タブを表示する]** チェックボックスをオンにすると、**[印刷設定]** ダイアログボックスにタブが表示されます。**[簡単設定タブを表示する]** チェックボックスをオンにした場合、他の 2 つのチェックボックス、**[簡単設定タブ以外を隠す]** および **[初期画面を簡単設定タブにする]** の設定も行えます。
  - **[印刷設定]** にアクセスしたときに、**[初期画面を簡単設定タブにする]** オプションをオンにするとこのタブが開きます。
  - **[簡単設定タブ以外を隠す]** をオンにすると、ユーザには **[簡単設定]** タブのみ表示します。

セキュリティ設定のロック

[セキュリティ・ウォーターマーク]プラグインがインストールされている場合は、**[管理者設定]**ダイアログボックスに**[セキュリティ設定のロック]**項目が表示されます。この機能をロックすることにより、管理者はセキュリティ・ウォーターマークをすべてのジョブに印刷することができます。

管理者パスワード

[管理者設定] ダイアログボックスで **[設定を保護する]** をオンにし、このダイアログボックスに対して不正な変更が行われるのを防ぎます。この設定をオンにすると、管理者設定ダイアログボックスを開く際に、パスワードの入力が必要になります。このパスワ

ード保護により、**[**部門管理**]**、**[**簡単設定タブを表示する**]**、**[**セキュリティ設定のロック**]**、および**[SNMP**設定**]**へのアクセスをブロックします。

管理者パスワードの設定

1 **[**デバイス設定**]** > **[**管理者設定**]** から、**[**設定を保護する**]** を選択します。

2 **[**パスワード設定**]** ボックスに4～16文字のパスワードを入力します。**[**新しいパスワードの確認**]** にパスワードを再入力して、**[OK]**をクリックします。

管理者パスワードのクリア

1 **[**デバイス設定**]** タブで、**[**管理者設定**]** をクリックします。

2 **[**パスワード入力**]** ダイアログボックスで、パスワードを入力し **[OK]** をクリックします。

3 **[**管理者設定**]** ダイアログボックスで、**[**設定を保護する**]** チェックボックスをオフにします。

4 **[OK]** をクリックします。

SNMP

簡易ネットワーク管理プロトコル(**SNMP**)は、プリンティングシステムなどネットワークデバイス管理を制御するルールセットです。**SNMP** に設定すると、自動設定 機能を利用する際のセキュリティレベルが決定され、認証されていない印刷が **SNMPv3** デバイスに送信されることを防ぎます。プリンタドライバおよびデバイスのCOMMAND CENTERでは、**SNMP** に設定する必要があります。

使用可能な **SNMP** オプションは、次のとおりです。

SNMPv1/v2c

このオプションを使用すると、**[**リードコミュニティ名**]** と **[**ライトコミュニティ名**]** を使用して、正常な **[**自動設定**]** 通信を行うことができます。

SNMPv3

このオプションを使用すると、ユーザ名とパスワードを使用して、正常な **[**自動設定**]** 通信を行うことができます。**[**設定**]** を選択すると、認証オプションやプライバシーオプションが利用できるようになります。

設定を他の機種に反映

設置したデバイスのリストから、選択した **SNMP** 設定を適用することができます。

SNMPv3オプション

[SNMPv3] オプションを選択すると、プリンティングシステムとの接続に信頼性を高めることができます。

認証

このオプションは、転送されたファイルが完全な状態で到達したかどうかをチェックするアルゴリズムを実行します。Message Digest 5 (**MD5**)およびSecure Hash Algorithm 1 (**SHA1**)は、パケットデータの認証に用いられるアルゴリズムです。

MD5

このオプションは、128ビットのハッシュ値を生成する暗号化用ハッシュ関数を実行します。このオプションを実行することにより、ゲートウェイロードバランシングプロトコル(GLBP)のなりすましソフトウェアに対抗できるセキュリティと保護機能を強化することができます。

SHA1

このオプションは、160ビット長のメッセージダイジェストを生成します。**SHA1** は、**MD5** の後継アルゴリズムです。

プライバシー

このオプションでは、接続の信頼性を高めるために暗号化が使用されます。このオプションは、**[認証]** オプションを選択すると使用できるようになります。プライバシーオプションを1つ選択してください。(IB-23はAES暗号化通信をサポートしていません。)

DES

このオプションでは、暗号化技術としてData Encryption Standardが使用されます。**DES** は、暗号化アルゴリズムを使用して平文を暗号文に変換します。暗号化と復号化には、8バイト長のブロックと56ビット長の鍵が使用されます。

AES

このオプションでは、暗号化技術としてAdvanced Encryption Standardが使用されます。**AES** は、対称的に構成されたブロックによる暗号文で、128、192、256ビット長の暗号鍵を使用して128ビットのデータブロックを処理することができます。この方法は、**DES** よりも安全性が高くなります。

SNMP設定の選択

ドライバの**SNMP** 設定はプリントシステムのコマンドセンタの設定に一致させる必要があります。

1. **[**デバイス設定**]** > **[**管理者設定**]**で、**[SNMP**設定**]**をクリックします。
2. **[SNMPv1/v2c]**または**[SNMPv3]**を選択します。

   SNMPv1/v2c の場合は、最大32文字で **[**リードコミュニティ名**]** と **[**ライトコミュニティ名**]** を入力して、**[OK]**をクリックします。

   SNMPv3 の場合は、最大32文字の **[**ユーザ名**]** 、8文字から32文字までの **[**パスワード**]** を入力します。
3. **SNMPv3** に認証とプライバシーを設定するには、**[**設定**]**をクリックします。
4. **[SNMPv3]** ダイアログボックスで、使用できるオプションの中から選択します。
5. **[SNMPv3**設定**]** ダイアログボックスで、**[OK]** をクリックします。
6. **[**設定を他の機種に反映**]**をクリックして、利用可能なモデルの中から選択します。**SNMP** の設定が、選択したすべてのモデルに適用されます。

ユーザ設定

[ユーザ設定**]** を使用すると、ユーザ名や部署・部門名の指定、デフォルトの単位の選択を行うことができます。

クライアント/サーバ環境では、制限されたユーザとしてログインしたクライアントは、この機能を利用することができません。

ユーザ登録

ユーザ登録では、最大31文字のユーザ名と部署・部門名を使用して、印刷ジョブを識別できます。ユーザ名は、ハードディスクに保存されている印刷ジョブの識別に使用することができます。

ユーザ登録情報の設定

ユーザ名と部署･部門名情報を入力することで、ジョブ管理**(e-MPS)**機能に使用することができます。

1 **[**デバイス設定**]** > **[**ユーザ設定**]**から、**[**ユーザ名**]**テキストボックスに指定する名前を入力します。

2 **[**部署･部門名**]**テキストボックスに、部署･部門名またはグループ名を入力します。

[ユーザ名**]**および**[**部署･部門名**]**テキストボックスには、最大31文字まで入力することができます。

単位

単位には、**[**インチ**]** または **[**ミリ**]** のいずれかを設定することができます。これは、次の設定に使用されます。

- **[**基本設定**]**タブの **[**原稿サイズ**]** ダイアログボックスにある **[**カスタム用紙サイズ**]** の設定。
- **[**拡張機能**]**タブの **[**ウォーターマークの追加**]** および **[**編集**]**ダイアログボックスにある **[**間隔**]** の設定。
- **[**レイアウト**]**タブの**[**ポスター印刷**]**設定および**[**とじしろ**]**設定。

単位の選択

ユーザインタフェースで長さを表示する際の単位を選択することができます。

1 **[**デバイス設定**]** タブで、**[**ユーザ設定**]** をクリックします。

2 **[**インチ**]** または **[**ミリ**]** のいずれかを選択します。

PDL (ページ記述言語)

ページ記述言語 (PDL) では、印刷されるページのコンテンツおよびレイアウトを指定します。**[**デバイス設定**]**タブで、**PCL XL**、(Printer Command Language XL)、**PCL 5e**、**KPDL**(PostScript印刷のエミュレーション)、**PDF**(ポータブルドキュメントフォーマット)の中から選択することができます。XPSドライバをインストールした場合は、PDLオプションはXPS しか選択できません。プリンタのデフォルトは、ほとんどの印刷に最適な**PCL XL**です。**PDL**を選択すると、**[**プレビュー画面**]**の下に選択されたPDLが表示されます。

[GDI 互換モード**]**では、ベクトルグラフィックはビットマップイメージとして印刷するためにラスタライズされます。**[GDI** 互換モード**]**オプションを使用すると、アプリケーションで作成したグラフィックの出力クオリティを向上させることができます。

参考**:** PDL選択のリストに**PDF**を追加するには、**[PDF**作成**]**プラグインをインストールする必要があります。

クライアント/サーバ環境では、制限ユーザとしてログインしたクライアントはこの機能を利用することができません。

PDLオプション

[デバイス設定**]**タブから開くことのできる**[PDL**設定**]**ダイアログボックスで指定可能なPDLオプションは次のとおりです。

PCL XL

HP PCLとPCL 6の最新バージョンです。このPDLには、PCL 5eの機能が含まれています。PCL XLには、PCLの旧バージョンとの下位互換性がありませんが、次の点において、PCL 5eの機能よりも強化されています。

- ファイルサイズの圧縮
- 印刷速度の高速化
- アプリケーションに戻る速度の高速化

PCL 5e

- PCLの旧バージョンとの完全な互換性
- 双方向通信のサポート
- Microsoft Windowsのアプリケーションで使用できるフォントの種類の拡大
- 同様に、複雑なグラフィックも印刷できない場合があります。

KPDL

PostScript 2または3がサポートされているアプリケーションから印刷する場合は、KPDLを使用します。

- PostScript印刷のエミュレーション
- グラフィックの再生機能の強化
- 印刷速度は、PCL 5eよりも遅くなる場合があります。
- PCL 5eよりも大きなデバイスメモリ容量が必要です。
- 本来のTrueTypeフォントをダウンロードすることが可能です。
- 多彩なグラフィック設定オプションをサポートしています。

PDF

[PDF作成**]**は、さまざまなデータ元から文書をAdobe PDF形式に印刷または保存できるプラグインです。PDF形式は、文書の作成に使われたオペレーティングシステムやアプリケーションソフトウェアに依存しません。

- PDF文書を作成する際に、既存の商用アプリケーションの代わりとしてお使いください。
- PDF形式で保存された文書は、元の外観をそのまま保持し、Windows、Mac OS、UNIX上で動作する無料のAdobe Readerを使って閲覧、印刷することができます。
- PDLとして選択されたPDFでは、一部のドライバオプションしか利用できません。

PDLオプションの選択

PDLオプションから、ページ記述言語を選択することができます。

1. **[**デバイス設定**]** > **[PDL]**で、**[PDL**設定**]**リストから指定するページ記述言語を選択します。

2. **[GDI** 互換モード**]**オプションを選択すると、自分のアプリケーションで作成したグラフィックの出力クオリティを向上させることができます。

3. **[**詳細設定**]**は、**PDL**が**KPDL**または**PDF**に設定されている場合に使用することができます。

   PDLに**KPDL**を選択すると、**[**設定**]**をクリックして、**[KPDL**の設定**]**ダイアログボックスを開くことができます。**[**データパススルーを許可**]** チェックボックスをオンにする

と、PostScript形式を使用するアプリケーションから複雑なジョブを印刷する際のエラーをなくすことができます。

ただし、**[**データパススルーを許可**]**を選択した場合、**[**詳細設定**]**タブの**[EMF**スプール**]**を使用することはできません。

PDLに**PDF**を選択すると、**[**設定**]**をクリックして、**[PDF**の設定**]**ダイアログボックスを開くことができます。

4 **[PDL**設定**]**ダイアログボックスで、**[OK]**をクリックします。

PDF

[PDF作成**]** は、さまざまなデータ元から文書をAdobe PDF形式に印刷または保存できるプラグイン機能です。この機能は、PDF文書を作成する場合に、既存の商用アプリケーションの代わりとして利用することができます。PDF形式で保存された文書は、元の文書の見ばえをそのまま保持し、Windows、Mac OS®、UNIX®プラットフォーム上で動作するAdobe® Reader®を使って閲覧、印刷することができます。

複数の用紙サイズが混在する文書の場合は、PDFのすべてのページで、最初のページのサイズが使用されます。

参考: ページ記述言語 としてPDFを選択した場合は、ドライバの一部のオプションしか利用できません。

PDFオプション

[PDF作成**]**プラグインをインストールした場合は、**[PDF]**オプションを選択することができます。

[PDFの設定**]**ダイアログボックスには、次のオプションがあります。

PDFの設定

フォントを埋め込む

このオプションを使用すると、文書のフォントは**PDF**ファイルで設定されたとおりに画面に表示されます。このオプションを使用すれば、ファイルの内容を正確に再現することができますが、ファイルサイズが非常に大きくなってしまいます。

データを圧縮する

このオプションを使用すると、**PDF**文書を圧縮することができます。また、ファイルサイズは飛躍的に小さくなります。Adobe Acrobatでは、その他の圧縮オプションも利用することができます。

セキュリティ

このオプションを使用すると、**PDF**文書に暗号化を適用することができます。他の**[**セキュリティ**]**設定については、**[**設定**]**をクリックしてください。詳細については、次のセクションを参照してください。

ファイルに保存する

このオプションを使用すると、文書をPDFファイルとして印刷および保存できます。その他の**[**ファイルに保存する**]**の設定については、**[**設定**]**をクリックしてください。

セキュリティ設定

このオプションを使用すると、暗号化レベルを選択し、生成された**PDF**ファイルのパスワードを作成することができます。

使用できるセキュリティオプションは、次のとおりです。

暗号化

暗号化によりパスワード保護をかけることができるため、許可されていないユーザが文書を開いたり、変更することは不可能となります。

40ビット

この暗号化オプションによって、PDF文書に低レベルのセキュリティをかけることができます。このオプションは、Adobe Acrobatの旧バージョン、およびAdobe Reader 3.0 - 4.xでサポートされています。

128ビット

この暗号化オプションによって、PDF文書に高レベルのセキュリティをかけることができます。このオプションは、Adobe Acrobat、およびAdobe Reader 5.0以降のバージョンでサポートされています。

パスワード

セキュリティ設定を変更したり、文書を開く場合は、パスワードを選択します。パスワードには、最大16文字まで設定することができます。

セキュリティィ設定を変更するためのパスワードを要求する

オーナーパスワードを入力します。Adobe Acrobatでは、**[**ファイル**]** > **[**プロパティ**]** > **[**セキュリティ**]**セクションで文書の制限を変更する際に、このパスワードが必要です。

ドキュメントを開くためのパスワードを要求する

ユーザ パスワードを入力します。PDF文書を開く際は、ユーザパスワードを入力する必要があります。このパスワードは、ユーザパスワードとは異なるものに設定しなければなりません。

ファイルへの保存を設定

このオプションを使用すると、文書をPDFファイルとして印刷および保存できます。

ファイルに保存する

PDFファイルが作成され、ローカルに保存されます。

ファイルに保存**+**印刷

PDFファイルが、ローカルに保存され、印刷用に送信されます。

これら2つのオプションを選択した後、次のオプションを選択できます。

既定のファイルに自動保存

PDFファイルは再び使用できるようにするためデフォルトファイルとして自動保存されます。

次のオプションから選択してください。

デフォルトのファイル名を置き換える

このオプションでは、デフォルトのファイル名を変更します。

デフォルトファイル名 **+** 日付と時間を使用

このオプションでは、デフォルトのファイル名を使用し、文書が保存されるたびに日付と時間のタイムスタンプを追加します。

規定のファイルディレクトリ

このオプションでは、PDFファイルを保存する場所を参照します。

PDFの印刷と保存

[PDF作成**]** プラグインをインストールした場合は、文書を印刷して、それをAdobe PDFに保存することができます。

1 コントロールパネルの **[**プリンタ**]** フォルダを開きます。

2 目的のプリントシステムモデルを右クリックします。

3 **[**プロパティ**]** をクリックして、**[**デバイス設定**]** タブをクリックします。

4 **[PDL]** をクリックします。

5 **[PDL**設定**]** ダイアログボックスの **[PDL**選択**]** リストから、**[PDF]** を選択します。

6 **[**詳細設定**]** をクリックします。

7 **[PDF** の設定**]** ダイアログボックスで、**[**ファイルに保存する**]** を選択します。

8 **[**設定**]** をクリックし、印刷と保存オプションから選択します。詳細については、**PDF**オプション を参照してください。

9 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

10 文書を開いて印刷します。

11 **PDF** ファイルに名前を付けて、保存します。

Windows Vista XPSのドライバについて

XML Paper Specification (**XPS**)ページ記述言語では、最も効率良く文書の表示や処理を行うことができます。**PDL**と文書形式のどちらとしても、**XPS**は、互換性のあるプリンタ機器とWindows Presentation Foundation(WPF)アーキテクチャ向けに書かれたソフトウェアが必要となります。**PCL**および**KPDL**は、**XPS**環境と互換性がありません。そのため、**XPS**ドライバは、**PDL**設定の**XPS**しかサポートしていません。**XPS** ドライバは、**Product Library CD**からインストールできます。インストール方法の画面からカスタムモードを選択し、ドライバの選択画面で**KX XPS DRIVER** を選択します。

GDI 互換モード、**PDF**、**CIE** 最適化、およびフォントは、**XPS**ドライバでは使用できません。

XPS文書のファイルを表示するには、Microsoft XPSビューアをダウンロードして、インストールする必要があります。

互換性設定

[互換性設定**]**では、給紙元の値を指定したり、フェイスアップ出力時の逆順出力を無効にしたり、プリンタドライバからの部単位設定を優先したり、**[**基本設定**]** タブで**[**給紙元**]**および**[**用紙種類**]**リストを統合することができます。

クライアント/サーバ環境では、制限されたユーザとしてログインしたクライアントは、この機能を利用することができません。

給紙方法の設定

[給紙方法の設定**]** は、カセットやフィーダ用の値など、プリンタドライバに固有の給紙値との互換性をサポートします。新しくプリンタドライバをインストールした場合でも、それがこのドライバ用であるか、他のメーカのものかに関わらず、交換したドライバと同じ給紙サポートを維持します。古いドライバに給紙のマクロが残っていても、給紙値の調整が維持されるため、マクロを変更する必要はありません。

給紙の設定

Product Library CD の中の ドライバ情報 ユーティリティ (\Utility\Driver Info\DrvInfo.exe)を使用して、インストールされているすべてのドライバの給紙値を比較できます。

プリンタドライバ間で指定された給紙元が異なる場合、設定値を割り当て直してドライバ間で一致するようにできます。

1 [デバイス設定]タブで、[互換性]を選択します。

2 **[**給紙方法の設定**]** リストから、用紙の供給方法を選択します。現在の値は、**[**設定値**]** ボックスに表示されています。

3 **[**設定値**]** に値を入力して、**[**適用**]** をクリックします。異なるドライバの設定を同じにするため、この値は他のドライバの値と揃えておく必要があります。

[互換性設定**]** のすべてのオプションをデフォルトに戻すには、**[**リセット**]** をクリックします。

フェイスアップ出力時に逆順出力しない

[フェイスアップ出力時の逆順出力しない**]** をオンにすると、フェイスアップジョブでは1ページ目を一番下に、そして最終ページを一番上に印刷します。

このチェックボックスをオンにすると、フェイスアップ出力時の逆順印刷は無効です。

このチェックボックスをオフにすると、フェイスアップ出力時の逆順印刷は有効です。

ドライバの部単位設定を優先する

このオプションは、ソフトウェアアプリケーションの **[**部単位印刷**]** 設定を無視し、プリンタドライバの設定を優先させます。

- チェックボックスをオンにすると、プリンタドライバの **[**部単位印刷**]** 設定が使用されます。
- チェックボックスをオフにすると、アプリケーションの **[**部単位印刷**]** 設定は無効です。

プリンタドライバの部単位印刷の選択

アプリケーションの部単位設定の設定を無視して、プリンタドライバの部単位設定の設定を使用することができます。

1 **[**デバイス設定**]** タブで、**[**互換性**]** を選択します。

2 **[**ドライバの部単位設定を優先する**]** を選択します。

[互換性設定**]** のすべてのオプションをデフォルトに戻すには、**[**リセット**]** をクリックします。

給紙元リストにメディアタイプも表示する

ドライバの **[**基本設定**]** タブを変更して、用紙種類 と 給紙元 を 給紙元 という名前の1つのリストに統合することができます。統合したリストでは、最初に用紙種類が表示され、次にカセットとMPトレイが続いて表示されます。

統合された給紙元リストの作成

[基本設定**]** タブで、給紙元 リストと 用紙種類 リストを統合させて、1つの 給紙元 リストにすることができます。

1 **[**デバイス設定**]** タブで、**[**互換性**]** を選択します。

2 **[**給紙元リストにメディアタイプも表示する**]** を選択します。

[互換性設定**]** のすべてのオプションをデフォルトに戻すには、**[**リセット**]** をクリックします。

3 簡単設定

[簡単設定]タブでは、印刷ジョブに基本的な印刷設定を適用することができます。[簡単設定] の設定はプロファイルと呼ばれるグループとして保存し、すべての印刷ジョブに適用できます。プロファイルでは一般的な印刷タスクがサポートされています。

[簡単設定] タブを表示するかどうかは、インストール処理中、または[プロパティ]の[管理者設定]で管理者が設定できます。

これらの機能は[簡単設定]タブで使用できます。

簡単設定オプション

[簡単設定] タブでは1つまたは複数のオプションを設定できます よく使う印刷作業を、事前に定義した設定と登録されたプロファイルを選択して印刷を行えます。

よく使われる機能の設定

[簡単設定] タブの上には、印刷ジョブでもっともよく使われるアイコンがいくつか表示されています。[簡単設定]内のアイコン およびチェックボックスをクリックすると、印刷ジョブの設定を変更できます。設定できる機能のいくつかは、[一般]、[レイアウト]、および[印刷品質]タブにも表示されます。最後に選択したタブは他の関連するタブで表示される選択に影響します。

印刷の向き

このアイコンは、印刷方向の縦と横を切り替えます。必要に応じて、**[180°回転]** をオンにすると印刷ページの向きが180度変更されます。

エコプリント

このアイコンで、エコプリントを使用して白黒の印刷を行います。エコプリントアイコンをクリックすると、印刷ジョブ内のテキスト、およびグラフィックス全体を薄い濃度で印刷します。エコプリント の設定は、印刷速度に影響しません。

部単位印刷

このアイコンは、印刷ページの順番を変更できます。印刷するページが、1–2–3、1–2–3、1–2–3、または1–1–1、2–2–2、3–3–3のどちらの順番にするかを選べます。このオプションを選択して印刷するページの順番を 逆順印刷 することもできます。(逆順印刷 は、[基本設定] タブの [排紙先] で プリンタの設定 が選択されていない場合に使用できます。逆順印刷 を無効にするには、[デバイス設定] > [互換性設定] から設定できます。)

両面印刷

このアイコンでは、長辺とじの両面印刷、短辺とじの両面印刷、または両面印刷をしないを切り替えることができます。

ページ集約

このアイコンは、1枚に印刷するページ数を1、2、4 から選択できます。1枚に4枚ページ以上印刷する場合はは、[レイアウト] > [ページ集約] で設定します。

標準印刷オプションは[標準に戻す]で、[簡単設定]タブの初期設定状態に戻せます。このボタンは、アプリケーションの [印刷] ダイアログボックスからアクセスした場合にのみ表示されます。

次のセクションでは、[簡単設定]タブの設定項目について詳しく説明します。[部単位印刷]、[両面印刷]、および[エコプリント]は、[基本設定]および[印刷品質]タブ、および[レイアウト]タブの[ページ集約]にも表示されます。[プロファイル設定]機能は、[印刷設定]からアクセスできます。

部単位印刷

部単位印刷 は、複数部印刷ジョブでページが印刷される順番を指定します。部単位印刷 を選択すると、最初に印刷ジョブのデータがプリントシステムに送信され、ページ画像としてプリントシステムのメモリにレンダリングされます。残りのジョブのコピーは、保存されたデータから印刷します。これにより、すべてのコピーをコンピュータからプリントシステムに送信しようとする追加プロセスの発生を防ぐことができます。

部単位印刷 が選択されると、ドライバはジョブ一式を1冊ごとに印刷します。部単位印刷 がクリアされると、ドライバは各ページごとに部数分印刷します。たとえば、部単位印刷 を選択し、5 ページの原稿を 3 部出力する場合、1 ページから 5 ページまで連続して、3 回印刷します。

両面印刷

両面印刷は、用紙の両面に印刷します。[両面印刷]をオンにして両面印刷を有効にします。両面印刷が選択されていないと、プリンタは用紙の片面にだけ印刷します。プリントシステムには、用紙を裏返すことによって裏面への印刷を可能にする両面ユニットが搭載されています。表紙と裏表紙の両面に印刷しページを挿入するには[両面印刷] を有効にしておく必要があります。

長辺とじ

冊子の横でページをとじるように、用紙の長辺をとじて中身を表示する場合に選択してください。

短辺とじ

冊子の上部でページをとじるように、用紙の短辺をとじて中身を表示する場合に選択してください。

ページ集約

ページ集約は、文書のレビューや用紙節約などの目的で 1 枚の用紙に複数ページ印刷します。用紙 1 枚あたりに印刷されるページ数が増えるため、読みやすさは低減し

ます。各ページの境界線を印刷するなどのページの調整は、**[**レイアウト**]** タブから設定できます。

プロファイルオプション

[プロファイル**]** セクションで、ジョブを印刷するのに使用できるプロファイルを選択します。また、事前定義されたプロファイルから選択したり、独自のプロファイルを作成して、これをインポートすることもできます。アイコンを再調整して、プロファイルを編集したり削除することもできます。

プロファイルの選択

[簡単設定**]**タブの下部にある**[**プロファイル設定**]**ボタンには常にドライバオプションをデフォルト設定に戻す**[**初期設定**]**プロファイルが含まれています。プロファイルには、プリンタのインストールウィザードから追加コンポーネントとしてインストールされた共通プロファイルと作成された任意のカスタムプロファイルを含めることができます。初期設定と管理者プロファイルは変更できません。

1 プロファイルを選択します。

サイドパネルにはそのプロファイルの、主なオプションが表示されます。

2 **[**適用**]** をクリックします。

事前定義されたプロファイルに **[**簡単設定**]** オプションが提供されていない場合、**[**簡単設定**]** アイコンは使用できません。

3 [OK] をクリックします。

プロファイルの追加

[追加**]** ボタンを使用して独自のプロファイルを作成することができます。プロファイルには、ドライバの現在の設定がすべて含まれます。プロファイルを使用すると、すべての設定を再選択する必要がなくなり、同じタイプの印刷ジョブを繰り返し印刷することができます。**[**プロファイル設定**]** ボタンは、**[**印刷設定**]** の下のすべてのタブの下部に表示されます。

1 **[**印刷設定**]** を開き、すべての設定を行い、印刷ジョブ用の印刷オプションを設定します。

2 **[**プロファイル設定**] > [**追加**]** をクリックします。

3 プロファイルを識別するため、名称を入力し、アイコンを選択して、コメントを入力します。

4 **[OK]** をクリックしてプロファイルを保存します。

新しく追加されたプロファイルが、**[**プロファイル設定**]**ダイアログボックスに表示されます。

5 **[**適用**]** をクリックして選択されたプロファイルを現在の印刷ジョブで有効にするか、または **[OK]** をクリックしてプロファイルを追加します。

参考: プリンタドライバをデフォルト設定にリセットするには、初期設定 プロファイルを選択し、**[**適用**]** をクリックします。プロファイルの設定は消去され、初期設定に戻ります。

プロファイルの編集

[編集**]** ボタンを使用して既存のプロファイルを変更できます。**[**初期設定**]** オプションは編集できません。

1 **[**プロファイル設定**]** をクリックします。

2 **[**プロファイルの選択**]** セクションで、編集するプロファイルを強調表示し、**[**編集**]** をクリックします。

3 [名称]、[アイコン] 、および[コメント] の3つのオプションは編集できます。**[OK]** をクリックして編集した変更を保存します。

新しく編集されたプロファイルが、**[**プロファイル設定**]**ダイアログボックスに表示されます。

4 **[**適用**]** をクリックして選択されたプロファイルを現在の印刷ジョブで有効にするか、または **[OK]** をクリックしてプロファイルを保存します。

プロファイルの削除

[削除**]** ボタンを使用して、既存のプロファイルを削除できます。初期設定 プロファイルは削除できません。

1 **[**プロファイル設定**]** をクリックします。

2 **[**プロファイルの選択**]** セクションで、削除するプロファイルを強調表示し、**[**削除**]** をクリックします。

3 プロファイルの削除を確認するメッセージが表示されます。**[**はい**]** をクリックして削除します。

4 **[OK]** をクリックして **[**プロファイル設定**]** ダイアログボックスを閉じます。

プロファイルのインポート

[インポート**]** ボタンを使用して、プロファイルのコピーを他のプリンタドライバからお使いのプリンタドライバにインポートできます。

1 **[**プロファイル設定**] > [**インポート**]** の順にクリックします。

2 既存のプロファイル (.KXP) を参照して選択し、**[**開く**]** をクリックします。

インポートされたファイルの中に、既存のドライバでは使用できないプロファイル設定が含まれている場合はメッセージが表示されます。プロファイルをインポートするには **[**はい**]** 、インポートをキャンセルするには **[**いいえ**]** をクリックします。

3 前の手順で **[**はい**]** を選択した場合、**[**プロファイル**]**ダイアログボックスに新しくインポートされたファイルが表示されます。

4 **[**適用**]** をクリックして選択されたプロファイルを現在の印刷ジョブで有効にするか、または **[OK]** をクリックしてプロファイルを保存します。

プロファイルのエクスポート

[エクスポート**]** ボタンを使用して、プロファイルのコピーをお使いのプリンタドライバから他のプリンタドライバにエクスポートできます。**(**[初期設定]オプションは編集できません。)

1. **[**プロファイル設定**]**をクリックします。

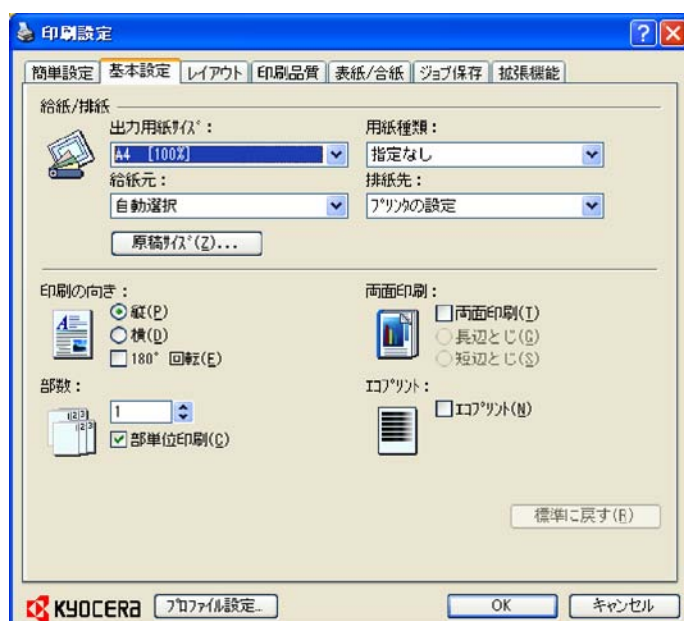
2. **[**プロファイルの選択**]**セクションで、エクスポートするプロファイルを選択し、**[**エクスポート**]**をクリックします。

3. **[**プロファイルのエクスポート**]**ダイアログボックスが表示されます。プロファイルに名前を付けて保存します。

4. **[OK]** をクリックして **[**プロファイル設定**]** ダイアログボックスを閉じます。

4 基本設定

[基本設定]タブでは、よく使うプリンタドライバの設定を記憶できます。

これらの機能は[基本設定]タブで使用できます。

プリンタドライバの設定について

プリンタドライバの設定は、アプリケーションの [印刷] ダイアログボックスまたは [コントロールパネル] からアクセスできます。アプリケーションからアクセスする場合、ドライバ設定への変更はアプリケーションが終了するまで有効です。[コントロールパネル] からアクセスする場合、変更はデフォルトのプリンタ設定として保持されます。

デフォルトのドライバ設定の変更

[標準に戻す]ボタンは、アプリケーションの[印刷]ダイアログボックスにある[設定]または[プロパティ]にアクセスした場合にのみ使用することができます。デフォルトのドライバ設定は、すべてのアプリケーションから送信された印刷ジョブに適用されますが、各アプリケーションで設定が変更された場合は、その設定が優先されます。

1 [スタート]、[コントロールパネル]の順にクリックし、[プリンタ] (Windows Vistaの場合)、またはWindowsの[プリンタと**FAX**] (Windows XPの場合)をクリックします。

2 お使いのプリントシステムのアイコンを右クリックします。

3 **[**印刷設定**]** をクリックします。ここで設定した内容はデフォルトとして設定されます。

用紙の基本設定

[基本設定**]**タブでは、最も一般的に使用される印刷操作の設定を行うことができます。

出力用紙サイズ

この設定では、デバイスの実際の用紙サイズには関係なく、プリンタが印刷する領域のサイズを設定します。

給紙元

この設定は、用紙が給紙されるカセットまたはトレイを指定します。カスタム用紙サイズを使用している場合以外は、**[**自動選択**]** のままにすることをお勧めします。

用紙種類

この設定は、デバイスに指定された用紙種類に基づき、**[**給紙元**]** を選択します。通常、**[**指定なし**]**の設定にしておくことができます。

排紙先

この設定では、印刷ジョブの出力に使用する出力用トレイを指定します。

印刷の向き

この設定では、印刷ジョブの用紙方向を指定します。**[180°**回転**]** を選択すると、印刷ジョブの向きが180°回転します。

部数

この設定では、印刷する部数を指定します。複数の部数を帳合いして出力する場合は、**[**部単位印刷**]** を選択します。

両面印刷

この設定では、両面印刷を行うことができます。

エコプリント

この設定は、画像、テキスト、およびグラフィックス全体が印刷ジョブで薄めに表示されます。エコプリントは、印刷速度には影響がありません。

参考: アプリケーションによっては、ドライバで指定した印刷設定を無視して印刷を行う場合があります。通常は、設定に従うようにアプリケーションを設定します。Microsoft Word 2007では、**[**オプション**]** の **[**デフォルトのトレイ **]**を **[**プリンタ設定に従う**]** に指定してください。

給紙元および用紙種類

[基本設定**]** タブの、**[**給紙元**]** で印刷ジョブのプリンタで使用するトレイまたはカセットを指定します。デフォルトは **[**自動選択**]** で、プリンタはアプリケーションまたはプリンタドライバから要求された用紙を検索します。

[用紙種類**]** は、プリンタにアプリケーションまたはプリンタドライバから要求された用紙またはメディアの種類を検索するよう指示します。表示される選択肢は **[**給紙元**]** での選択によって異なります。自動選択を選択した場合、プリンタは同じメディアが入っている別のトレイまたはカセットを検索します。

OHPフィルムやラベル紙、封筒は、MP トレイを使用して印刷します。用紙の給紙は、プリントシステムに付属している使用説明書の手順に従って、正しく行ってください。

参考: 給紙元 と 用紙種類 は、別々のダイアログボックスで設定しますが、[互換性設定] の [給紙元リストにメディアタイプも表示する] 設定を使用して、組み合わせて設定することが可能です。組み合わせて設定する場合、[基本設定] タブの 用紙種類 は使用できません。この設定を変更するには、[デバイス設定] > [互換性設定] を開き、[給紙元リストにメディアタイプも表示する] の選択をオフにします。

出力用紙サイズと原稿サイズ

[出力用紙サイズ]は、文書を出力する用紙のサイズを選択します。この設定を使用する際は、原稿サイズ の設定がアプリケーションで設定されている原稿サイズと一致していることを確認してください。原稿サイズ がアプリケーションの原稿サイズと異なると、各ページは 出力用紙サイズ と一致させるために拡大または縮小されます。かっこ内の数値(%)は、出力用紙サイズ に対する 原稿用紙サイズ の比率です。原稿サイズ がアプリケーションで設定されている 原稿サイズ (元のサイズ) と一致しないと、ほとんどの場合、原稿サイズ は無視され、文書は元のサイズで出力されます。

カスタム用紙サイズの作成

カスタム用紙サイズを使用するには、カスタムサイズを指定した後、原稿サイズ のリストに追加します。ドライバには、最大 20 のカスタムサイズを作成することができます。

1 [基本設定]タブで、[原稿サイズ]をクリックします。

2 [新規] をクリックします。

3 [名前] ボックスに、デフォルトのカスタムサイズ名が表示されます。カスタムページサイズの名前を入力します。

4 幅と長さの値を入力するかまたは選択します。幅や長さの値が許可される制限を超えた場合、[適用]または[OK]をクリックした後に値は自動的に制限値に調整されます。

5 完了したら、[適用] をクリックします。

用紙サイズ のリストにカスタム用紙サイズが表示されます。

[原稿サイズ] ダイアログボックスからカスタム用紙サイズを削除するには、カスタム用紙サイズの名前を選択し [削除] をクリックします。

カスタム用紙サイズを使用して印刷

次の手順を実行してカスタムサイズの用紙 (またはOHPフィルムなどの他のメディア) に印刷できます。

1 アプリケーションで、[ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

2 [印刷]ダイアログボックスで、[プロパティ]をクリックします。

3 [基本設定] タブで、[出力用紙サイズ] リストのカスタム用紙サイズ名を選択します。

4 [給紙元] リストから、カスタムサイズの用紙を給紙する、給紙元 を選択します。[OK] をクリックして [印刷] ダイアログボックスに戻ります。[OK] をクリックして印刷を開始します。

両面印刷

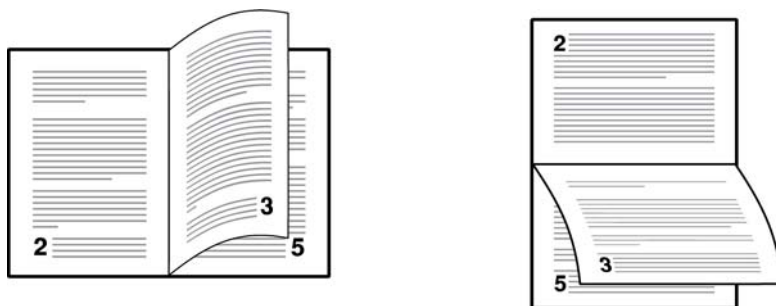
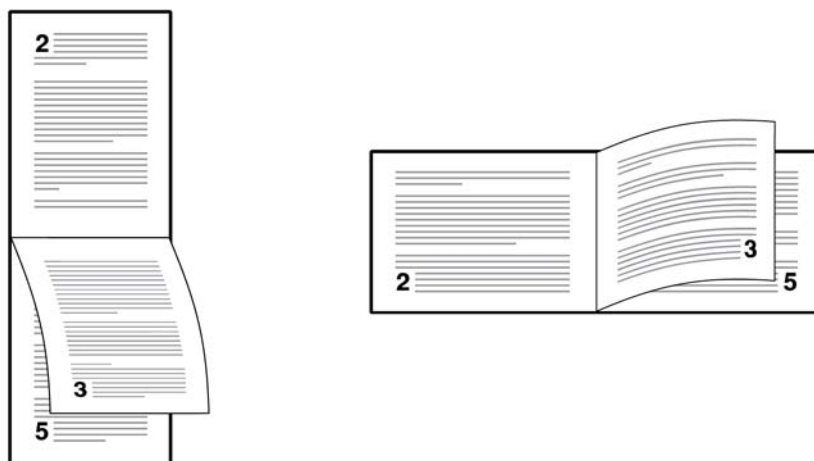
両面印刷は、用紙の両面に印刷します。[両面印刷] をオンにして両面印刷を開始します。両面印刷が選択されていないと、プリンタは用紙の片面にだけ印刷します。プリントシステムには、用紙を裏返すことによって裏面への印刷を可能にする両面ユニットが搭載されています。表紙と裏表紙の両面に印刷しページを挿入するには [両面印刷] を選択する必要があります。

長辺とじ

冊子の横でページをとじるように、用紙の長辺をとじて中身を表示する場合に選択してください。

短辺とじ

冊子の上部でページをとじるように、用紙の短辺をとじて中身を表示する場合に選択してください。

長辺とじ

短辺とじ

両面印刷モードで印刷

1 [基本設定]タブで、[両面印刷] を選択します。

2 [長辺とじ]または[短辺とじ]のいずれかを選択します。

部単位印刷

部単位印刷 は、複数部印刷ジョブでページが印刷される順番を指定します。部単位印刷 を選択すると、最初に印刷ジョブのデータがプリントシステムに送信され、ページ

画像としてプリントシステムのメモリにレンダリングされます。残りのジョブのコピーは、保存されたデータから印刷します。これにより、すべてのコピーをコンピュータからプリントシステムに送信しようとする追加プロセスの発生を防ぐことができます。

部単位印刷 が選択されると、ドライバはジョブ一式を1冊ごとに印刷します。部単位印刷 がクリアされると、ドライバは各ページごとに部数分印刷します。たとえば、部単位印刷 を選択し、5 ページの原稿を 3 部出力する場合、1 ページから 5 ページまで連続して、3 回印刷します。

文書の部単位印刷

複数ページの文書を複数部印刷するとき、プリントシステムはページ順に1部ごとにまとめることができます。

1 アプリケーションで、**[**印刷**]** ダイアログボックスを開き、**[**プロパティ**]** をクリックします。

2 **[**基本設定**]**タブで、**[**部単位印刷**]**チェックボックスをオンにします。

3 **[**部数**]** ボックスに部数を入力するかまたは設定されている文書の数字を選択します。文書ページ数は、トレイが収納できる枚数以下である ことが必要です。

4 **[OK]** をクリックして **[**印刷**]** ダイアログボックスに戻り、**[OK]** をクリックして印刷を開始します。

エコプリント

エコプリント は、印刷ジョブ内の画像、テキスト、およびグラフィックス全体を薄い濃度で印刷します。エコプリントは、印刷速度には影響がありません。

京セラロゴ

[ドライバ]タブの下部には必ず、京セラロゴが表示されます。ロゴをクリックすると、ドライバのバージョン番号とドライバプラグイン情報を表示した**[**バージョン情報**]**ダイアログボックスが開きます。

バージョン情報の表示

[詳細バージョン**]** をクリックすると、次のようにドライバ情報が表示されます。

- ファイル名
- バージョン
- 説明
- 日付
- 製造元
- コメント

著作権情報を表示するには、**[**使用条件**]**をクリックします。

[OK]をクリックして、[ドライバ情報]ダイアログボックスを閉じます。

プラグイン情報の表示

[プラグイン**]** をクリックして次のドライバ情報を表示します。

- モジュール

- 説明
- バージョン

プラグインの削除

ドライバに装着されているプラグインを削除できます。削除すると、ドライバのインタフェースにはプラグインの機能は表示されません。

1. **[**スタート**]**、**[**コントロールパネル**]** の順にクリックして、**[**プリンタ**]** (Windows Vistaの場合)、またはWindowsの**[**プリンタと**FAX]**(Windows XPの場合)をクリックします。
2. 目的のプリンタアイコンを右クリックします。
3. **[**プロパティ**]** を選択します。
4. **[**デバイス設定**]** タブを選択します。
5. 京セラ ロゴをクリックして **[**バージョン情報**]** ダイアログボックスを開きます。
6. プラグイン をクリックして **[**プラグイン情報**]** のダイアログボックスを開きます。
7. リストからプラグインモジュールを選択して、**[**削除**]** をクリックし、次に **[**はい**]** をクリックします。
8. すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

参考**:** **[PDF**への出力**]** モジュールを削除する場合は、ダイアログボックスで **PDF** が選択されていないことを確認してください。

5 レイアウト

[レイアウト] タブで、元の文書に影響を与えずに、印刷されたページでドキュメントデータを配置することができます。

これらの機能は、[レイアウト] タブで使用できます。

ブックレット

ブックレット 機能を使うと、1 枚の用紙に 2 ページのレイアウトで両面印刷を行うことができます。ブックレットは、用紙の中央で 2 つに折りたたんでとじることができます。折りたたんだブックレットは、選択した用紙の半分のサイズになります。たとえば、[基本設定] > [用紙] > [用紙サイズ]で[A4]を選択すると、印刷出力は中折りされてA5サイズのブックレットとなります。

ブックレットが選択された場合、ページ集約、ポスター印刷、および縮小・拡大などのその他のオプションは使用できません。

ブックレットの表紙には別の給紙元を選択できます。ブックレットに表紙を含めるには、[表紙/合紙] タブで、[表紙付け] を選択します。

ブックレット印刷

ブックレット印刷では以下のように左とじ印刷または右とじ印刷を選択する必要があります。

1 **[**レイアウト**]** タブで**[**ブックレット印刷**]**を選択して、左とじまたは右とじのどちらかを選択します。

左とじ

左から右に読み取る文書を印刷する場合、これを選択します。

右とじ

右から左に読み取る文書を印刷する場合、これを選択します。

2 **[OK]** をクリックして **[**印刷**]** ダイアログボックスに戻ります。

3 **[OK]** をクリックして印刷を開始します。

ページ集約

ページ集約は、文書のレビューや用紙節約などの目的で 1 枚の用紙に複数ページ印刷します。用紙 1 枚あたりに印刷されるページ数が増えるため、読みやすさは低減します。各ページの境界線を印刷するなどのページの調整もできます。

ページ集約印刷

このセクションでは、1 枚の用紙に複数のページを選択し、並べて印刷する方法について説明します。

1 **[**レイアウト**]** タブで、**[**ページ集約**]** をオンにします。

2 **[1** シートのページ数**]** で、1 枚の用紙に印刷するページ数を指定します。

3 各ページの境界線を印刷するには **[**境界線を印刷**]** をオンにします。

4 **[**レイアウト**]** リストから、ページを並べる方向を横に選択します。

5 **[OK]** をクリックして **[**印刷**]** ダイアログボックスに戻ります。

6 **[OK]** をクリックして印刷を開始します。

ポスター印刷

ポスター印刷 機能を使用すると、プリンタで印刷可能な用紙サイズより大きなサイズの文書を印刷できます。元の大きさの最大 25 倍までの大きさの、ポスターやバナーを印刷できます。ポスター文書は分割されて複数枚の用紙に印刷され、ポスター設定の機能を使って再びこれらの用紙を集めることにより、簡単にポスターを作成できます。

[分割ページ数**]** を使用して、元の文書サイズに対応するポスターのサイズを選択します。各オプションには印刷されるページ数と最大ポスターサイズが表示されます。

参考: 分割ページ数には、測定の単位がインチまたはミリメートルで表示されます。**[**単位**]**の設定を変更するには、**[**プリンタとファクス設定**]** フォルダで、プリンタを右クリックします。**[**プロパティ**]**、**[**デバイス設定**]**、**[**ユーザ設定**]**の順にクリックします。

[ポスター設定**]** を使用して、ポスターの作成に最も便利なように、任意の組み合わせでオプションを選択します。これらのオプションは、ポスター印刷された用紙に、ページの裁ち落としやページのつなぎ合わせに便利なガイドラインを印刷します。

のりしろ幅

隣り合う用紙の端をオーバーラップさせて印刷する機能です。このように端をオーバーラップさせて印刷すると、ポスターの見栄えがよくなります。チェックボックスをオンにして、のりしろ幅を 0.00 から 1.20 インチ (0.0 から 30.4 mm) の範囲で入力または選択します。この機能を使用すると、最終的なポスターのサイズが少し小さくなります。

枠線を印刷

ポスター用紙の端を示す枠線を印刷します。用紙をつなぎ合わせる前に、枠線から外側を切り落としてください。これによって、隣り合う用紙どうしの印刷内容が正確につながります。

つなぎ目の番号を印刷

各用紙の端に番号を印刷し、隣り合う用紙どおしを番号であわせます。同じ番号の用紙の端を重ね合わせて完成させます。

印刷されたポスター用紙をどのようにつなぎ合わせるのかを見るには、ポスター設定を選択後、**[**印刷条件**]** を選択してテスト印刷を行います。

ポスター印刷

指定した枚数に実際に分割して印刷します。

テスト印刷

すべてのポスターページを 1 枚の用紙に印刷して、どのように仕上がるのか表示します。

ポスター印刷**+**テスト印刷

すべてのポスター用紙の印刷 (ポスター印刷) と 1 枚のテスト印刷の両方が実行されます。

ポスター印刷

ポスターやバナーを印刷するには、次の手順を実行してください。

1. **[**レイアウト**]** タブで、**[**ポスター印刷**]** を選択します。
2. **[**分割ページ゛数**]**でポスターのサイズを選択します。各オプションには仕上がりを 1 枚の用紙に収めるため分割する枚数が記されています。
3. **[**ポスター設定**]**をクリックして、任意の組み合わせでオプションを選択します。これらのオプションによってポスターを作製するためのより細かい設定が行えます。
4. **[**印刷条件**]** では、仕上がり印刷条件のオプションを 1 つ選択します。
5. **[OK]** をクリックして **[**印刷**]** ダイアログボックスに戻ります。
6. **[OK]** をクリックして印刷を開始します。

縮小・拡大

[縮小・拡大**]** を使用して、テキストやグラフィックを含むページを拡大または縮小して印刷します。また、とじしろ設定を使用して、複数ページをブックレット印刷する際に、と

じしろを拡大することが可能です。拡大・縮小は、ブックレット、ポスター印刷、またはページ集約が選択されている場合は使用できません。

[レイアウト］ タブで、[縮小・拡大］を選択し、20～500%の範囲で、比率を入力または選択します。縮小・拡大 は、用紙の長さと幅を同比率で調整します。比率が小さいとページは縮小され、大きいと拡大されます。

とじしろ

とじしろは、用紙の左側または上部に追加の余白を作成します。これは印刷ジョブを読みやすくするためで、とじ、穴あけ、またはステープルなどに使用されます。とじしろのサイズを増やすと左側の文書およびグラフィックの周りのマージン、あるいは印刷用紙の上部が広くなります。印刷可能領域を右に移動するとマージンスペースが大きくなり、1 インチ (25.4 mm) まで指定できます。

1 **[**レイアウト**]**タブで、**[**とじしろ設定**]**をクリックします。

2 **[**とじしろの幅**]** オプションに、5.0から 25.4 mm の範囲の値を入力します。

長辺とじ **(**左**)**

これを選択するとページ左側の外側のマージンを変更できます。

短辺とじ **(**上**)**

これを選択するとページ上部の外側のマージンを変更できます。

参考: とじしろが使用できるかどうかは、**[**基本設定**]** タブの印刷の向きと両面モードの設定によって異なります。

3 文書が用紙の端に寄りすぎる場合は、**[**ページに合わせて縮小する**]**を選択してください。文書は用紙の端から離れ少しだけ縮小されます。とじしろを増やしてもページからはみ出ない場合は **[**ページに合わせて縮小する**]** をオフにします。

4 **[OK]**をクリックしてとじしろの設定を保存して、**[OK]**を続けてクリックして**[**印刷**]**ダイアログボックスに戻ります。

5 **[OK]** をクリックして印刷を開始します。

6 印刷品質

[印刷品質] タブで、印刷の品質およびグレイスケール設定を行います。

これらの機能は [印刷品質] タブで使用できます。

印刷品質とカスタム品質

印刷品質では、印刷ジョブの解像度を設定できます。解像度とは、テキストおよび画像のシャープさや鮮明度を、1 インチあたりのドット数(dpi) で表したものです。カスタム品質では、より細かい解像度を印刷ジョブに設定できます。

印刷品質の選択

[印刷品質]タブで、リストから[印刷品質]を選択します。印刷品質の選択肢は、プリントシステムでサポートされている解像度によって異なります。

[高品質]、[標準]、[エコプリント]

印刷の解像度を高から低で印刷するために、これらの設定から 1 つ選択します。**[標準]** は、PDL として **[PCL5e]**を選択している場合は使用できません。

ユーザ定義

ユーザ定義では、カスタム品質、エコプリント、および半速モードの設定を選択できます。エコプリントを選択しないでユーザ定義を選択すると、デフォルトの設定はプリントシステムの最高解像度となります。

より細かい解像度を選択できる設定ダイアログボックスを開くには、**[**カスタム品質**]**をクリックします。解像度は、**[Fine 1200]**、**[Fast 1200 dpi]**、**[600 dpi]**、または**[300 dpi]**に設定できます。**KIR**（スムージング）は、テキストおよびベクトルグラフィックの輪郭を滑らかにし、オンまたはオフに設定できます。

半速モード

半速モードを使用すると、印刷速度を通常の約半分に落として印刷します。厚手の紙への印刷や、バーコードを印刷する際に、印刷仕上がりが向上します。

[印刷品質**]**タブで、半速モードを利用できます。**[**品質設定**]**に**[**ユーザ定義**]**が選択されていて、**[**カスタム品質の設定**]**ダイアログボックスで、**[**解像度**]**が**[600 dpi]**に設定されている場合に利用できます。この機能は、**XPS**ドライバでは利用できません。また**PDF**が**[PDL**設定**]**ダイアログボックスで選択されている場合にも同様に利用できません。

この機能は、LS-4020DNおよび LS-6970DNのみでサポートされています。

エコプリントの選択

エコプリント とは、トナー消費量を抑えて印刷するプリントモードで、画像、テキスト、およびグラフィックス全体が印刷ジョブで薄めに表示されます。トナーの量は、プリントシステムのモデルおよび印刷されるデータの種類 (テキスト、グラフィックスなど) によって異なります。エコプリントは、**[**簡単設定**]** または **[**基本設定**]** タブからも利用可能です。

1. **[**印刷品質**]**タブで、**[**印刷品質**]**リストから、**[**ユーザ定義**]**を選択します。
2. **[**エコプリント**]**をクリックして、**[**エコプリント**]**ダイアログボックスを開きます。
3. エコプリントを有効にするには、**[**オン**]**を選択し、無効にする場合は、**[**オフ**]**を選択します。
4. **[OK]** をクリックして **[**エコプリント**]** ダイアログボックスを閉じます。

フォント

フォントは、書体デザインの同じ文字や記号などの一そろいを含むデータファイルです。フォントの一般的な用語は次のとおりです。

ビットマップフォントは、各文字をピクセル（画像を構成する最小単位のドット）の組み合わせで表現するフォントです ビットマップフォントは、拡大または縮小を行うと、ゆがみが発生します。

ビットマップフォントとは対照的に、アウトラインフォントは、数学的な線および曲線として定義されます。アウトラインフォントは、(ポイントサイズにかかわらず、ゆがみなく表示および印刷が可能なため）ビットマップフォントと異なり任意に拡大縮小が可能です。

ネイティブフォントは、PCのオペレーティングシステムにインストールされている、基本的なフォントです。TrueType フォントは、Microsoft Windows で使用されるネイティブフォントです。

TrueTypeフォントは、拡大縮小可能なアウトラインフォントの1つです。TrueType は、Microsoft Windows で最も多用されて来た汎用的なフォント形式です。

システムフォントは、オペレーティングシステムで使用される基本のフォントです。システムフォントは通常、アプリケーションインタフェース、または一般的なフォントダイアログボックスを介して使用されます。

デバイスフォントは、プリントシステムメモリに恒久的または一時的に保存されています。

フォント詳細設定

[フォント詳細設定**]** ダイアログボックスでは、TrueType フォントのプリントシステムへの送信方法を選択し ます。選択した方法は、印刷ジョブの速度と品質に影響を与えます。

アウトラインフォントとしてダウンロード

この方法は、複数の異なるフォントやフォントサイズを使用する大きな文書や印刷ジョブに最適です。この設定の最適化機能により印刷の速度も速くなります。同じフォントデータを繰り返しプリントシステムに送信する回数が減ることによって印刷速度が速くなります。日本語、中国語、韓国語などのアジア言語は、これらの特定のフォントに対して大量の情報が使用されているため、印刷速度は速くなりません。

Type42 フォント送信モード

この方法は、TrueType フォントを Adobe Type 42 フォント形式に変換することによって、テキストの印刷品質を改良し、印刷速度を上げます。この機能は、**KPDL**が選択されている場合に使用可能です。

ビットマップとしてダウンロード

ビットマップとしてフォントをダウンロードすると、より詳細になりますが、ファイルのサイズは非常に大きくなります。これは、ユーザ定義フォント、非常に小さいフォント（ポイントサイズ **1-4**）、またはアジアンフォントなどを使用している印刷ジョブに最適です。

プリンタフォントに代替えする

書体名に基づいてシステムフォントとプリンタフォントが自動的にマッチングされます。このファンクションは印刷速度と効率を上げます。これは、大きなドキュメント全体に使われているフォントを一括して変えるのに便利です。

参考: **GDI** 互換モードは**[**プリンタフォントに代替えする**]** をサポートしていません。

フォント詳細設定の選択

1 **[**フォント**]** をクリックして **[**フォント詳細設定**]** ダイアログボックスを開きます。

2 いずれかの TrueType フォントの送信方法を選択し、**[OK]** をクリックします。

フォントの代替え

フォントの代替えは、プリントシステムで指定したフォントが存在しない場合に、代わりに別のフォントを使用する処理のことです。フォントの代替えは、フォントを多数内蔵していないプリントシステムに文書を送信する場合に、重要な機能です。

[印刷品質**]** タブで、**[**フォント詳細設定**]**、**[**プリンタフォントに代替する**]**、**[**フォントの代替え**]** の順に選択して **[**フォントの代替え**]** ダイアログボックスを開きます。

[システムフォント**]** リストにはPCにインストールされているフォントが表示されます。**[**使用可能プリンタフォント**]** リストには、プリントシステムが表示されます。システムフォントを選択し、それに代替えするプリンタフォントを選択します。**[OK]** をクリックして、設定内容を保存します。プリンタフォントにシステムフォントと類似のフォントがない場合、文書内の文字間隔が正しく表示されない場合があります。

プリンタフォントを使用しない

TrueType フォントを、アウトラインフォントまたはビットマップフォントとして送信しても、プリントシステムフォントと置き換えられることがあります。TrueType フォントを、プ

リントシステムのフォントと代替えしないようにするには、**[プリンタフォントを使用しない]** を選択します。

このオプションによって印刷可能データの可搬性も向上します。(このオプションをオフにすると、異なるプリントシステムに送信した場合、プリンタフォントは一致しません。)

一部の Adobe アプリケーションでは、プリンタフォントの使用に制限がある場合があります。これらの制限を回避するには、**[プリンタフォントを使用しない]** を選択します。プリンタフォントは、PC側に同等のTrueTypeフォント(TrueTypeアイコンで表示)が存在しない場合、アプリケーション内のフォント一覧などではフォント名のとなりにプリンタアイコンが表示されて区別されます。

[印刷品質] タブで **[詳細設定]** をクリックして **[フォント詳細設定]** ダイアログボックスを開き、**[プリンタフォントを使用しない]** チェックボックスを選択します。

グラフィックス

グラフィックスは、情報を画像で表したものです。グラフィックスを使ってチャートやダイアグラムなどの機能的な情報を表示、あるいは絵や写真などのアートを表示できます。**[グラフィックス詳細設定]** では、印刷するグラフィックのオプションを選択できます。

参考: いくつかのオプションは特定の PDL が選択されている場合にのみ使用できます。

1 **[印刷品質]** タブで、**[グラフィックス詳細設定]** をクリックして **[グラフィックス詳細設定]** ダイアログボックスを開きます。

2 ダイアログボックスで、利用可能なオプションの中から選択し、**[OK]** をクリックして選択を保存します。

パターンスケーリング

パターンスケーリング は、モニタ表示と印刷出力間の見た目を極力一致させる機能です。図形やパスなどのオブジェクトには、ドットの集合体から構成される網目パターンや塗りつぶし領域が含まれることがあります。パターンとは規則的あるいは不規則的に反復された色や図形、線、値、背景から構成され、視覚的な配列を作り出します。フィルとは、色または階調によってオブジェクトを塗りつぶすものです。印刷されたパターンやフィルが画面の表示と一致しない場合、パターンスケーリング を使用して、他のドット密度を使用してみてください。

[印刷品質] タブで、**[グラフィックス詳細設定]** をクリックして **[グラフィックス詳細設定]** ダイアログボックスを開き、**[パターンスケーリング]** の設定にアクセスします。

自動 (デフォルト設定)

この設定は画面の表示に最も近いパターンおよびフィルで印刷します。

粗い

この設定は、最も粗い線数やパターン、またはドットで印刷を行います。[粗い] は、**PCL XL** または **PCL 5e** が、**[デバイス設定]**、**[PDL]**、**[PDL の選択]** の順で選択されている場合は、自動と同じです。

中間

この設定は、線数やパターン、およびドットを、[粗い]の場合より上げて、パターンおよびフィルを印刷します。中間は、**KPDL** が **[デバイス設定]**、**[PDL]**、**[PDL の選択]** の順で選択されている場合は、自動と同じです。

精細

細かいドットのパターンで印刷します。印刷結果は画面表示より濃くなる場合があります。

オプション

オプションでは、印刷内容を写真のネガのようなイメージにしたり、鏡像のように逆になるように印刷します。

[印刷品質**]** タブで、**[**グラフィックス**]** をクリックして **[**グラフィックス詳細設定**]** ダイアログボックスを開き、**[**反転**]** オプションにアクセスします。この機能は、**KPDL** が **[**デバイス設定**] > [PDL]**、**[PDL** の選択**]** の順で選択されている場合に使用可能です。

ネガティブイメージ印刷

この設定は、画像を写真のネガのように、画像の白と黒の領域を反転して印刷します。

ミラーイメージ印刷

この設定は、画像が鏡に映ったように、ページを鏡対称にして印刷します。

イメージデータ方式

イメージデータ方式は、プリントシステムの機能あるいは効率を改良するための処理または方法です。

[印刷品質**]** タブで、**[**グラフィックス詳細設定**]** をクリックして **[**グラフィックス詳細設定**]** ダイアログボックスを開き、**[**イメージデータ方式**]** にアクセスします。この設定は、**KPDL** が **[**デバイス設定**]**、**[PDL]**、**> [PDL** の選択**]** の順で選択されている場合に使用可能です。

バイナリ

この設定は印刷速度を上げ、スプールデータ量を削減します。イメージをバイナリ形式で送信します。これはほとんどすべての印刷ニーズに対して使用できます。

ASCII

この設定は、ASCII テキストエンコードで PostScript ファイルを作成します。バイナリ で作成したバイナリ形式とは異なり、これを選択して作成した ASCII テキストは編集が可能です。

CIE 最適化

CIE 最適化では、Adobe Acrobat や Photoshop などのアプリケーションで使用される CIE カラースペースの局面ごとの通常の処理をバイパスします。この機能を使用すると、CIE データの最適化によってこれらのアプリケーションから印刷される文書の印刷速度が速くなります。**CIE** 最適化は、実際に印刷される出力と画面上の表示が異なる場合があるため、色再現性よりも印刷速度を重視したい場合に選択します。

[印刷品質**]** タブで、**[**グラフィックス詳細設定**]** をクリックして **[**グラフィックス詳細設定**]** ダイアログボックスを開き、**[CIE** 最適化**]** チェックボックスをオンにします。**CIE** 最適化は、**KPDL** が **[**デバイス設定**] > [PDL]> [PDL** の選択**]** の順で選択されている場合に使用可能です。

参考**:** Windows Vista オペレーティングシステムで Kyocera XPS ドライバを使用している場合、**CIE** 最適化は使用できません。

ハーフトーンスクリーン

ハーフトーンスクリーンでは、熟練したユーザは、写真にみられるような異なるグレイの色合いを印刷できます。この色合いは、さまざまなサイズと形状のドットの印刷、およびそれらの間隔の密度を調節することで生成されます。さらに、この色合いは、データの列数、列の角度、およびデータの形状によって調節できます。

ハーフトーンスクリーンは、PDL として **KPDL** が選択される場合に利用可能です。**GDI**互換モードが**[PDL**設定**]** ダイアログボックスで選択されている場合は、使用できません。

ハーフトーンスクリーンの設定

ハーフトーンスクリーンを使用すると、白黒印刷の出力にグレイの色合いを適用することができます。

1 **[印刷品質]** タブで、**[グラフィックス詳細設定]** **>** **[ハーフトーンスクリーン]**をクリックします。

2 **[プリンタのデフォルト設定を使用]** チェックボックスをオフにします。

3 利用可能な以下のオプションを任意の値に設定します。

インク

[インク]には、利用可能なハーフトーンスクリーンがリストされます。白黒印刷のプリンタでは、このオプションはグレイ表示され選択できず、恒久的に黒に設定されています。

線数

[線数] には、インチまたはセンチメートルごとのドットの行数が表示されます。2.0 ～ 999.9 の範囲で設定し、[lines/inch] または [lines/cm] を選択します。

角度

このオプションは、文字列が整列される角度を設定します。-180 ～ 180 度の範囲で設定します。

網点形状

以下から、ハーフトーンドットの形状を選択します。

楕円: イメージの中で、滑らかであるはずの一部の領域が突然暗くなった場合など、視覚上の急転に耐性があります。楕円の形状は、より滑らかなトーンのグラデーションを提供します。暗い領域のあるイメージには、**[楕円]**を選択します。

円: モアレ構造およびドットゲインに耐性があります。モアレ構造とは、2 つ以上の色が誤った角度で印刷された場合に発生する、予期しないパターンのことです。正しい角度は、印刷される色数に依存します。ドットゲインとは、印刷時にハーフトーンドットが増加し、モアレのパターンになった場合のことを指します。薄い色合いの強調された領域のあるイメージには、**[円]** を選択します。

ライン: 特殊効果に使用されます。異なる角度を選択して効果を変更するには、**[ライン]**を選択します。

アキュレートスクリーンを使用

印刷品質を向上させるには、このオプションを選択します。結果的に印刷時間が長くなる可能性があります。

グレイスケール調整

グレイスケール調整は、グラフィックスの明るさおよびコントラストを変更します。これらの設定は、グラフィックイメージが明るすぎる、薄すぎる、あるいは暗すぎる場合に便利です。テキストに、影響はありません。

1 **[イメージング]** タブの **[調整]** で、**[ユーザ定義]** を選択します。

[バランス調整] ダイアログボックスのプレビューイメージに明るさとコントラストの変更が表示されます。

2 印刷ジョブのグラフィックイメージをより明るくするには明るさのスライダを右に、暗くするには左にドラッグします。

右側のテキストボックスに数値を入力しても明るさを変更できます。+100 で最も明るくなり、-100 で最も暗くなります。0 で通常の明るさです。明るさの調整は、グラフィックイメージが極端に明るく、または暗く印刷されてしまう場合に便利です。

3 印刷ジョブのグラフィックイメージの明暗の対比を増減するにはコントラストスライダを右または左にドラッグします。

コントラストの設定を高くすると、グレイスケールのスペクトルが減少し、明るいグレイはより明るく、暗いグレイはより暗くなります。コントラストの設定を低くすると、グレイスケールのスペクトルが増加し、明るいグレイは暗めに、暗いグレイは明るめになります。

右側のテキストボックスに数値を入力してもコントラストを変更できます。+100 で最も強くなり、-100 で最もコントラストが弱くなります。0 で通常のコントラストです。コントラストの調整は、グラフィックイメージがぼやけて、あるいは明暗がはっきりしすぎて印刷されてしまう場合に便利です。

4 **[OK]** をクリックして、グレイスケール調整の設定内容を保存します。

オプション設定

文字を黒色で印刷

このオプションはすべての文字を黒色で印刷します。プリンタに送るデータ量が減るため、カラー文字の印刷が高速化されます。白黒プリンタでは、この機能を使用することで、印刷された淡色テキストのきめ細かさが向上します。白い文字には影響ありません。

画像を黒色で印刷

このオプションは、すべての画像および文字を、グレースケールではなく黒色で印刷します。この機能はCADアプリケーション向けに実装されています。

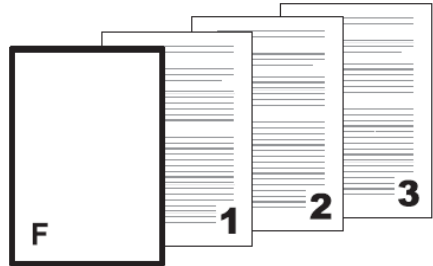
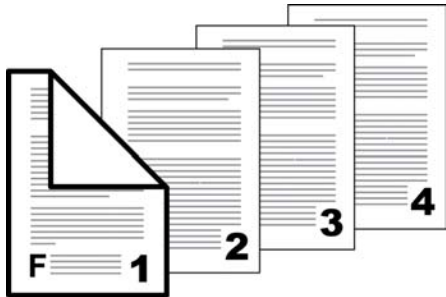
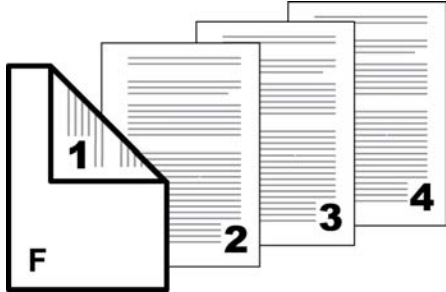
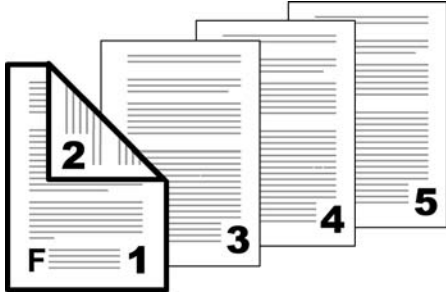
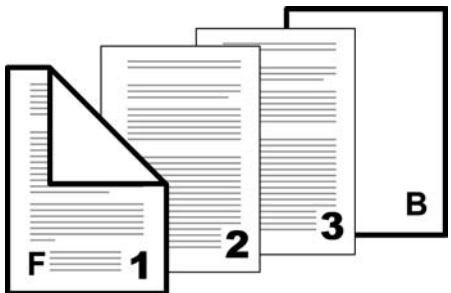
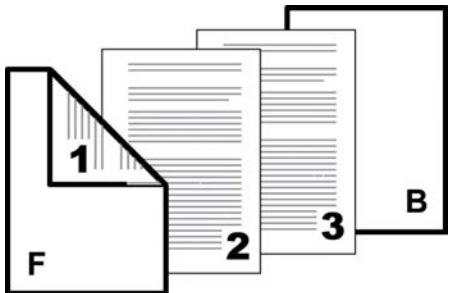
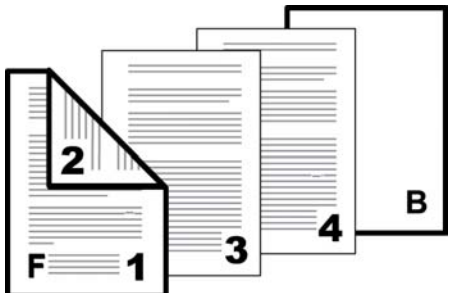
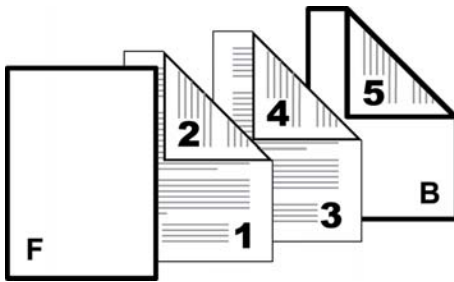
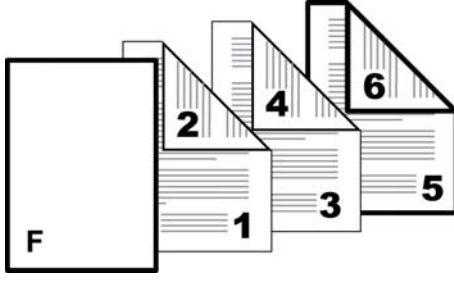
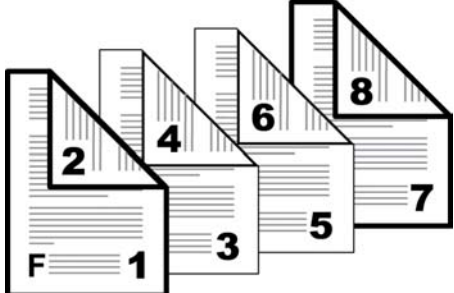
7 表紙/合紙

[表紙/合紙] タブでは、表紙を作成、挿入したり、印刷ジョブ用に OHP フィルムを追加したりできます。

これらの機能は、[表紙/合紙] タブで使用できます。

表紙付け

表紙付けは、文書の表紙および裏表紙に表紙付けページを追加する機能です。本文ページとは別の厚手の用紙やカラー紙などを使い、表紙を印刷することができます。表紙の給紙元は、同じく [表紙/合紙] ダイアログボックスのタブの [表紙の給紙方法] 設定で指定します。

[表紙の内面に印刷] または [裏表紙の外面に印刷] オプションを使用して、印刷を行うには [基本設定] タブで [両面印刷] を選択する必要があります。

表紙付け と 合紙 との併用はできますが、**OHP** 合紙 との併用はできません。

表紙の印刷

1. [表紙/合紙] タブで、[表紙付け] を選択します。

2. [表紙のみ] 、[表紙と裏表紙] 、または [印刷する用紙] オプションを選択して印刷する表紙の種類を選択します。

3 **[表紙の給紙方法]** を選択して表紙に使用する用紙種類や給紙方法を選択します。

表紙付けオプション

チェックボックスの選択	表紙挿入の種類
表紙のみ	白紙の表紙を追加します。
表紙のみ 表紙の外面に印刷	表紙の外面に印刷します。
表紙のみ 表紙の内面に印刷	表紙の内面に印刷します。
表紙のみ 表紙の外面に印刷 表紙の内面に印刷	表紙の両面に印刷します。

チェックボックスの選択	表紙挿入の種類
表紙と裏表紙	白紙の表紙と裏表紙を追加します。
表紙と裏表紙 表紙の外面に印刷	表紙の外面に印刷し、白紙の裏表紙を追加します。
表紙と裏表紙 表紙の内面に印刷	表紙の内面に印刷し、白紙の裏表紙を追加します。
表紙と裏表紙 表紙の外面に印刷 表紙の内面に印刷	表紙の両面に印刷し、白紙の裏表紙を追加します。

チェックボックスの選択	表紙挿入の種類
表紙と裏表紙 裏表紙の内面に印刷	裏表紙の内面に印刷し、白紙の表紙を追加します。
表紙と裏表紙 裏表紙の外面に印刷	裏表紙の外面に印刷し、白紙の表紙を追加します。
表紙と裏表紙 裏表紙の内面に印刷 裏表紙の外面に印刷	裏表紙の両面に印刷し、白紙の表紙を追加します。
表紙と裏表紙 表紙の外面に印刷 表紙の内面に印刷 裏表紙の内面に印刷 裏表紙の外面に印刷	表紙と裏表紙の両面に印刷します。

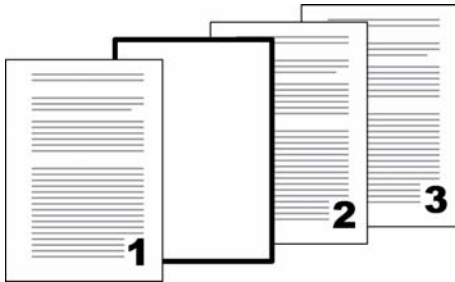
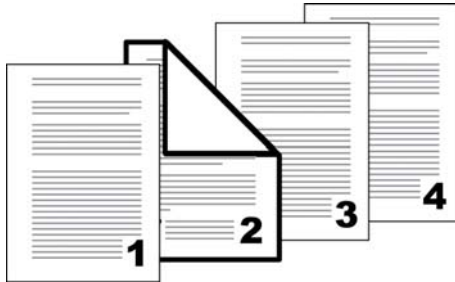
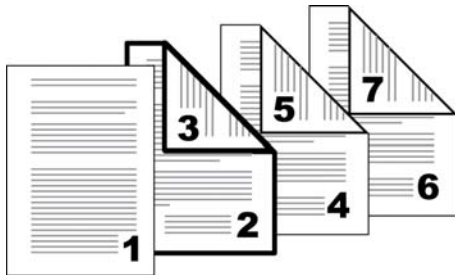
表紙の給紙方法の選択

1 **[表紙の給紙方法]** リストで、表紙と裏表紙の用紙種類または給紙元を選びます。

用紙種類を選んだ場合は、自動的に用紙種類と合致する給紙元を選択します。

2 **[OK]** をクリックして **[**印刷**]** ダイアログボックスに戻ります。

3 **[OK]** をクリックして印刷を開始します。

合紙

合紙 とは、プレプリントされたページ、または印刷ジョブの指定された箇所に挿入される異なった種類の用紙のことです。また、その用紙に印刷することも可能です。両面印刷ユニットを装着すると、合紙裏面に印刷することもできます。

合紙印刷 機能は、表紙付け印刷 機能と組み合わせて使用できますが、**OHP** 合紙印刷 との組み合わせはできません。

合紙印刷

合紙にはいくつかの方法があります。片面、両面に印刷、または白紙を差し込むこともできます。**[**合紙**]** チェックボックスをオンにします。目的の合紙印刷の組み合わせを選択します。合紙の表面または裏表面に印刷を行う場合は、合紙の **[**おもて面に印刷**]** または **[**裏面に印刷**]** チェックボックスをオンにします。

合紙印刷の組み合わせ

チェックボックス選択	合紙の種類
合紙	合紙として白紙を挿入する。
合紙 合紙のおもて面に印刷	合紙のおもて面に印刷する

チェックボックス選択	合紙の種類
合紙 合紙の裏面に印刷	合紙の裏面に印刷する
合紙 合紙のおもて面に印刷 合紙の裏面に印刷	合紙の両面に印刷する

OHP合紙

OHP合紙印刷では、印刷される各OHP フィルムの間に合紙を挿入します。合紙はOHP フィルムを清潔に保ち、OHP フィルムに傷がつくことを防ぎます。この機能は、OHP フィルムを手差しトレイから給紙して印刷する場合にのみ使用可能です。OHP フィルム間に挿入する合紙に、OHP フィルムと同じ文書を印刷することもできます。

OHP 合紙印刷の機能は、表紙付け機能 および 合紙印刷機能 との組み合わせはできません。

OHP 合紙印刷

1 **[**基本設定**]** タブの、**[**用紙種類**]** リストで、**[OHP**フィルム**]** を選択します。**[**給紙元**]** と **[**用紙種類**]** リストが組み合わせされている場合 (**[**デバイス設定**]** タブの、**[**互換性設定**]** ダイアログボックスで選択)、**[**用紙種類**]** は表示されません。代わりに **[**給紙元**]** リストで、**[**自動 **(OHP**フィルム**)**］を選択します。

2 **[**表紙**/**合紙**]** タブをクリックします。

3 **[**表紙**/**合紙**]** タブで、**[OHP**合紙**]** チェックボックスをオンにします。OHP フィルムと同じ文書を合紙にも印刷する場合は、**[**合紙に印刷**]** チェックボックスをオンにします。

4 **[**合紙の給紙方法**]** ドロップダウンリストから、合紙の用紙 または 給紙カセット を選択します。**[**用紙種類**]** を選んだ場合は、自動的に用紙種類がセットされた 給紙カセット を選択します。

5 **[OK]**をクリックして印刷を開始します。

プリントシステムの操作パネルには、OHP フィルムを手差しトレイにセットするよう、また必要に応じて、合紙の用紙を選択したカセットにセットするよう求めるメッセージが表示されます。

8 ジョブ保存

[ジョブ保存] タブでは、プリントシステムに装着されているメモリやハードディスクに印刷ジョブを保存できます。また、ジョブ名機能もジョブ保存機能と合わせて使用できます。ジョブ名機能は、Windows アプリケーションから文書を印刷するときに、プリントシステムの操作パネルに任意の名前を表示させることができます。

これらの機能は [ジョブ保存] タブで使用できます。

ジョブ拡張機能

[ジョブ拡張機能]には、印刷ジョブをプリンタのメモリに保存するためのオプションセットが用意されており、それらの印刷ジョブを印刷したり、後で再印刷することができます。印刷ジョブは、プリンタの操作パネルから後で簡単に印刷しなおすことができ、機密文書の印刷を許可されたユーザだけに制限することも可能です。プリンタのメモリの一部をRAMディスクとして指定することにより、印刷ジョブを一時的に保管させたり、さらに大容量が必要な場合や、ジョブを恒久的に保存する場合は、ハードディスクを設置したりすることも可能です。

e-MPSは、高度な印刷管理をデスクトップから直接行うことのできる多層的なソリューションです。プリンタにジョブを保存することにより、パソコンからジョブを再送信しなくても、プリンタの操作パネルからすぐに印刷することが可能です。

ジョブ拡張機能**(e-MPS)**を使用するには、**[**デバイス設定**]**タブから開くことのできる**[**ユーザ設定**]**ダイアログボックスで、**[**ユーザ名**]**が設定できます。

ジョブ拡張機能のオプション

	ストレージロケーション	必要なアクセスコード	ジョブの印刷	メモリからのジョブ削除	機能操作パネル
クイックコピー	ハードディスク	いいえ	最初に印刷を行った後、操作パネルから印刷	プリントシステムの電源オフ時またはハードディスクの容量の超過時	**[ジョブボックス] / [クイックコピー]**
試し刷り後、保留	ハードディスクまたは RAM ディスク	いいえ	試し刷りとして1部印刷して、残りは操作パネルから印刷	プリントシステムの電源オフ時	**[ジョブボックス] / [クイックコピー]**
プライベートプリント	ハードディスクまたは RAM ディスク	はい	操作パネルからアクセスコードが入力された時	印刷後、プリントシステムの電源オフ時	**[ジョブボックス] / [コジン/ホゾンジョブ]**
ジョブ保留	ハードディスク	オプション	操作パネルからの出力時	手動で削除された時	**[ジョブボックス] / [コジン/ホゾンジョブ]**

クイックコピー

クイックコピーは、印刷を行った後、再び印刷できるようにするため印刷ジョブのコピーをすべて印刷して、一時的にハードディスクに保存しておく、ジョブ拡張機能のオプションです。この機能は、ハードディスクがインストールされていて、**[デバイス設定]** タブで選択されている場合に使用可能です。

クイックコピー は、印刷を行った同じ日に後で、再びジョブの追加印刷が必要になった場合に便利です。ユーザは、パソコンからジョブを再送信しなくても、プリンタの操作パネルから追加部数を設定したり、ジョブを印刷することができます。

保管可能な クイックコピー または 試し刷り後、保留 ジョブの数は、プリンタの操作パネルから最大50個まで設定することができます。ジョブが既定の数に達すると、古いジョブから順に新しいジョブと入れ替わります。**[クイックコピー]**ジョブはすべて、印刷後にハードディスに保存されますが、プリンタの電源がオフになると削除されます。ジョブは、操作パネルから手動で削除することもできます。

注意: 印刷ジョブは、ハードディスク内にある同じユーザ名とジョブ名を持つジョブと入れ替わることがあります。こうした状況を防ぐには、**[上書きモード]** で、**[ジョブ名 + 日付と時間を使用]** を選択します。

クイックコピージョブの印刷

ハードディスクを設置すると、クイックコピー機能では、文書を印刷して、それをジョブを手動で削除するか、またはプリンタの電源を落とすまで、プリンタに保存することができます。

1. **[ジョブ保存]** タブで、**[ジョブ拡張機能]** をクリックします。
2. **[クイックコピー]** を選択します。
3. すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

たとえば、その日の後で会議があり、いくつかの部数を印刷する場合は、クイックコピー 機能を利用します。追加のコピーが必要になることが分かっている場合、ユーザ

は、パソコンからジョブを再送信しなくても、プリンタの操作パネルからすぐに印刷することが可能です。

クイックコピージョブの再印刷

コンピュータからジョブを再送信しなくても、プリンタの操作パネルからクイックコピージョブを再印刷することができます。

1. プリントシステムの操作パネルで、**[**メニュー**]**キーを押します。
2. **[**ジョブボックス**]**が表示されるまで上下キーを押し、右矢印を押します。
3. **[**クイックコピー**]**が表示されるまで上下キーを押し、**OK**キーを押します。
4. 指定する名前が表示されるまで上下キーを押してユーザ名をスクロールし、**OK**キーを押します。
5. 指定するジョブが表示されるまで上下キーを押してジョブ名をスクロールし、**OK**キーを押します。
6. 上下矢印キーを押して、印刷枚数を選択します。枚数は、1から999枚まで選択することができます。
7. **OK**キーを押すと、印刷が始まります。

試し刷り後、保留

[試し刷り後、保留**]** は、印刷ジョブを1部印刷してから残りの部数を印刷することで、印刷結果を確認できる **[**ジョブ保留 **(e-MPS)]** オプションです。この機能は、プリントシステムにハードディスクがインストールされているか、RAMディスクが設定されており、それが **[**デバイス設定**]** タブで選択されている場合に使用可能です。

試し刷り印刷を行い、確認した後は、コンピュータからジョブを再送信しなくても、プリンタの操作パネルから残りの部数を印刷することが可能です。必要に応じて、印刷部数は変更することができます。

参考: **[**試し刷り後、保留**]** は、Microsoft Excelなど一部のアプリケーションでは使用できません。

[試し刷り後、保留**]** の部数、または保存可能な **[**クイックコピー**]** ジョブの数は、プリンタの操作パネルで設定します。最大ジョブ数は、50個まで設定可能です。ジョブが既定の数に達すると、古いジョブから順に新しいジョブと入れ替わります。**[**試し刷り後、保留**]**ジョブはすべて、印刷後にハードディスクに保存されますが、プリンタの電源を落とすと削除されます。ジョブは、操作パネルから手動で削除することもできます。

注意: 印刷ジョブは、ハードディス内にある同じユーザ名とジョブ名を持つジョブと入れ替わることがあります。こうした状況を防ぐには、**[**上書きモード**]** で、**[**ジョブ名 **+** 日付と時間を使用**]** を選択します。

試し刷り後、保留ジョブの印刷

[試し刷り後、保留**]** を使用すると、複数部印刷のジョブの1部を試し刷りしてから、残りの部数を印刷することができます。ジョブは、プリンタの電源を落としたり、手動で削除したりするまではハードディスク または RAM ディスク 内に保存されます。

1 **[基本設定]**タブをクリックして、印刷部数を選択します。

2 **[ジョブ保存]** タブをクリックし、**[ジョブ拡張機能]** を選択します。

3 **[試し刷り後、保留]** をクリックし、**[OK]** をクリックします。

試し刷り後、保留の残部数の印刷

試し刷りを確認した後は、残りの部数はもう一度パソコンからジョブを送信しなくても、プリンタの操作パネルから印刷することができます。

1 プリントシステムの操作パネルで、**[メニュー]**キーを押します。

2 **[ジョブボックス]**が表示されるまで上下矢印キーを押し、右矢印を押します。

3 **[クイックコピー]**が表示されるまで上下矢印キーを押し、**OK**キーを押します。

4 指定する名前が表示されるまで上下キーを押してユーザ名をスクロールし、**OK**キーを押します。

5 指定する名前が表示されるまで上下キーを押してユーザ名をスクロールし、**OK**キーを押します。

6 上下矢印キーを押して、印刷枚数を選択します。枚数は、1から999枚まで選択することができます。

7 **OK**キーを押すと、印刷が始まります。

プライベートプリント

プライベートプリント ジョブは、4桁の アクセスコード が入力されるまで、後で印刷するためハードディスク、またはRAMディスクに保存されます。ハードディスク 容量が限界に達した状態で、新しい保存用ジョブが送信された場合は、古いジョブが新しいジョブに入れ替わります。プライベートプリントジョブは、プリンタをリセットしたり、電源をオフにしたりすると削除されます。ジョブを削除しない場合は、**[ジョブ保留]** 機能を選択してください。

機密文書をプリンタに送信する場合は、ユーザは4桁の アクセスコード を入力しなければなりません。このコードは、ジョブ名 、ユーザ名 と共に印刷ジョブに添付されています。ユーザがプリンタの操作パネルから アクセスコード を入力するまで、ジョブは印刷されません。印刷後は、ジョブはプリンタのメモリから削除されます。

保存可能な プライベートプリントジョブの数は、ハードディスクの容量のみに制限されます。ジョブは、操作パネルから手動で削除することもできます。

注意: 印刷ジョブはハードディスク内またはRAMディスクにある同じユーザ名とジョブ名を持つジョブと入れ替わることがあります。こうした状況を防ぐには、**[上書きモード]** で、**[ジョブ名 + 日付と時間を使用]** を選択します。

プライベートプリントジョブの保管

プライベートプリント を利用すると、印刷しなくても、プリンタのメモリに文書を一時的に保管し、アクセスコード で保護することができます。ジョブは、印刷されるか、手動で削除されるか、オフになるまで、ハードディスクに保管されます。

1 **[**ジョブ保存**]** タブで **[**ジョブ拡張機能**]** をクリックします。

2 **[**プライベートプリント**]** を選択します。

3 **[**アクセスコード**]** ボックスに4桁の番号を入力します

4 **[OK]** をクリックして、印刷します。

プライベートプリントジョブの印刷

プライベートプリントジョブを印刷するには、プリンタの操作パネルから4桁のアクセスコードを入力します。ジョブは、印刷されるとすぐに、ハードディスクまたはRAMディスクメモリから削除されます。

1 プリントシステムの操作パネルで、**[**メニュー**]**キーを押します。

2 **[**ジョブボックス**]**が表示されるまで上下矢印キーを押し、右矢印を押します。

3 **[**コジン**/**ホゾンジョブ**]**が表示されるまで上下矢印キーを押し、**OK**キーを押します。

4 指定する名前が表示されるまで上下キーを押してユーザ名をスクロールし、**OK**キーを押します。

5 指定するジョブ名が表示されるまで上下キーを押してジョブ名をスクロールし、**OK**キーを押します。

6 右矢印キーを押して各桁を選択し、上矢印キーを押してアクセスコードを入力してから、**OK**キーを押します。

7 上下矢印キーを押して、印刷枚数を選択します。枚数は、1から999枚まで選択することができます。

8 **OK**キーを押すと、印刷が始まります。

ジョブ保留

ジョブ保留は、**[**ジョブ拡張機能**]**オプションの 1 つで、印刷ジョブを後で再度印刷できるようにハードディスクに恒久的に保存できます。また、オプション機能として、印刷ジョブが不正に印刷されることを防ぐために アクセスコード を使用することもできます。この機能は、ハードディスクがインストールされていて、**[**デバイス設定**]** タブで選択されている場合に使用可能です。

ジョブ保留 は、プリンタの電源を落として再び電源を入れた場合でも印刷可能なため、いつでも印刷を行う必要のあるジョブに便利です。ジョブ保留 ジョブを削除するには、プリンタのメモリから手動で削除します。

必要に応じて、4桁の アクセスコード を ジョブ保留 ジョブに設定して、誰にも見られないようにジョブを印刷したり、許可されたユーザだけに印刷を制限することができます。アクセスコードを設定すると、ユーザがプリンタの操作パネルからコードを入力するまで、ジョブは印刷されません。印刷後も、ジョブはプリンタのメモリに残ります。

保存可能な ジョブ保留ジョブの数は、ハードディスクの容量に依存します。ジョブは、操作パネルから手動で削除することもできます。

注意: 印刷ジョブは、ハードディス内にある同じユーザ名とジョブ名を持つジョブと入れ替わることがあります。こうした状況を防ぐには、[上書きモード] で、[ジョブ名 + 日付と時間を使用] を選択します。

ジョブ保留ジョブの保管

ジョブ保留機能 を利用すると、文書を印刷しなくても、プリンティングシステムのメモリの中に恒久的に保存することができ、さらにその文書を アクセス コード で保護するオプションも用意されています。ジョブは、手動で削除されるまで ハードディスク に保存されます。

1 **[**ジョブ保存**]**タブで、**[**ジョブ拡張機能**]** をクリックします。

2 **[**ジョブ保留**]** を選択します。

3 文書へのアクセスを制限したい場合は、**[**アクセスコード**]** をオンにしてボックスに4桁の数字を入力します。

4 **[OK]** をクリックして、印刷します。

ジョブ保留ジョブの印刷

デバイスの操作パネルから、**[**ジョブ保留**]**ジョブを印刷することができます。今後印刷するときのために、ジョブはハードディスクにそのまま保存されます。

1 プリントシステムの操作パネルで、**[**メニュー**]**キーを押します。

2 **[**ジョブボックス**]**が表示されるまで上下矢印キーを押し、右矢印を押します。

3 メッセージディスプレイに**[**プライベート/保存**]**が表示されるまで上下矢印キーを押し、**OK**キーを押します。

4 指定する名前が表示されるまで上下キーを押してユーザ名をスクロールし、**OK**キーを押します。

5 指定するジョブ名が表示されるまで上下キーを押してジョブ名をスクロールし、**OK**キーを押します。

6 アクセスコードが設定されている場合は、右矢印キーを押して各桁を選択し、上矢印キーを押してアクセスコードを入力してから、**OK**キーを押します。

7 上下矢印キーを押して、印刷枚数を選択します。枚数は、1から999枚まで選択することができます。

8 **OK**キーを押すと、印刷が始まります。

ジョブ拡張機能ジョブの削除

プリントシステムのRAMディスク (ハードディスク)に保存されているジョブはすべてプリントシステムの操作パネルから手動で削除できます。

1 プリントシステムの操作パネルで、[メニュー]キーを押します。

2 [ジョブボックス]が表示されるまで上下矢印キーを押し、右矢印を押します。

3 クイックコピー (クイックコピーまたは試し刷り後、保留ジョブ用) または コジン/ホゾン ジョブ (プライベートプリントまたはジョブ保留ジョブ用) が表示されるまで上下矢印キーを押し、次に **OK** キーを押します。

4 指定する名前が表示されるまで上下キーを押してユーザ名をスクロールし、**OK**キーを押します。

5 指定するジョブ名が表示されるまで上下キーを押してジョブ名をスクロールし、**OK**キーを押します。

6 アクセスコードが設定されている場合は、右矢印キーを押して各桁を選択し、上矢印キーを押してアクセスコードを入力してから、**OK**キーを押します。

7 サクジョが表示されるまで、下矢印キーを押します。

8 **OK**を押して、ジョブを削除します。

ジョブ名

[ジョブ名]は、それぞれの印刷ジョブごとの識別名です。これはプリントシステムの操作パネルからジョブを探したり、印刷したりするのに便利です。ジョブ拡張機能のいずれかを使用して印刷ジョブを送信する場合、ジョブにカスタム名を割り当てたり、またはアプリケーションファイルの名前を使用できます。

Microsoft Word および PowerPoint では、アプリケーションで定義されるジョブ名にアプリケーション名を含めたりまたは除外したりできます。またプリントシステムのメモリ内のジョブが印刷されるとき、同じジョブ名の新しいジョブによって置換されないようにすることもできます。

アプリケーション名をジョブ名に使用しない

[アプリケーション名を使用しない] は、ジョブ拡張機能でジョブ名からアプリケーション名を削除するオプションです。[アプリケーションを使用しない] を選択すると、選択したファイル名がジョブリストにわかりやすく表示されます。この機能は、Microsoft Word または PowerPoint から印刷する場合にのみ使用できます。

上書きモード

上書きモード は、保存された印刷ジョブが同じ ジョブ名 を持つ新しいジョブによってプリントシステムのメモリ内で置き換えられないようにするためのオプションです。ユーザが同じ ユーザ名 と ジョブ名 を持つ 2 つの印刷ジョブを送信した場合、2 番目のジョブは何のメッセージも表示しないで最初のジョブに置き換わります。これを防ぐために、上書きモード はジョブが送信された日付と時間を追加して自動的に ジョブ名 を変更します。この機能はまた、パソコンから印刷ジョブが送信された時間を追跡するのにも役立ちます。

選択されたオプションは、アプリケーション定義 または ユーザ定義 が選択された ジョブ名 に適用されます。上書きモード オプションには、次のものがあります。

既存のファイルを置き換える

このオプションは、同じ ユーザ名 および同じ ジョブ名 が存在する場合、現在の印刷ジョブによってプリントシステムメモリ内の既存のジョブが置き換わります。

ジョブ名 **+** 日付と時間を使用

このオプションは、現在の日付と時間を ジョブ名 の後ろに yymmdd hhmmss の形式で追加します。

ジョブ名の選択

ジョブ拡張機能 を使用するためにはジョブ名を選択して、プリントシステムの操作パネルのジョブリストからジョブを見つけられるようにする必要があります。選択したジョブ名は、ジョブがプリントシステムのメモリに送信されるときに、印刷ジョブによって保存されます。

1 **[**ジョブ保存**]** タブで **[**ジョブ拡張機能**]** を選択します。

2 **[**ジョブ名**]** で、名前を選択します。

アプリケーション定義

このオプションは、アプリケーション文書の名前をジョブ名として使用します。Microsoft Word または PowerPoint 文書の場合、**[**アプリケーション名を使用しない**]** を選択すると、ジョブ名としてドキュメント名だけが表示されるようにアプリケーションの名前は削除されます。

ユーザ定義

このオプションは、各ジョブごとに一意の名前を使用します。ボックスに最大 79 文字の名前を入力します。

3 同じジョブ名のジョブがすでにプリントシステムのメモリに存在する場合は、**[**上書きモード**]** オプションを選択してください。

既存のファイルを置き換える

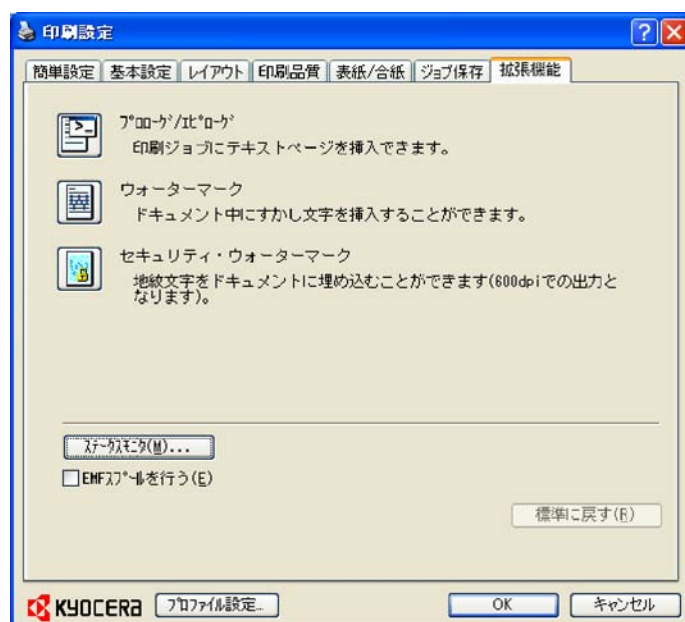
同じユーザ名および同じジョブ名を持つジョブすでに存在する場合、現在の印刷ジョブによってプリントシステムメモリ内の既存のジョブが置き換わります。

ジョブ名 **+** 日付と時間を使用

現在の日付と時間をジョブ名の後ろに yymmdd hhmmss の形式で追加します。

9 拡張機能

[拡張機能]タブでは、プリントシステムの機能を拡張させる特殊な機能を選択することができます。

これらの機能は、[拡張機能]タブで使用できます。

プロローグ/エピローグ

プロローグ/エピローグの機能を使用すると、ユーザは印刷ジョブの始めまたは終わりにコマンドファイルを挿入することができます。テキストエディタで用意されたコマンドファイルは、プリンタ上でプリスクライブ言語で書かれたプログラミングコマンドを使用します。**Product Library CD** には、プリスクライブコマンド言語の説明書が含まれています。コマンドファイルは、一連のインストラクションのセットで、プリントシステムはこれを解釈して出力を生成します。たとえばレターヘッドのように、文書の決まった位置にロゴなどを印刷するために、プリスクライブコマンドで記述したマクロファイルなどを挿入させることができます。

プロローグ/エピローグファイルの選択

印刷ジョブに追加する前に、お使いのシステムで プロローグ/エピローグファイルを使用可能にしておく必要があります。[プロローグ/エピローグ] このファイルを作成するには、Windows のメモ帳などのテキストエディタを使用します。

[プロローグ**/**エピローグ**]** ダイアログボックスで、印刷ジョブに挿入するプロローグ/エピローグファイルを選択します。(リストにファイル名が表示されていない場合は、**[**追加**]** をクリックしてリストに追加するファイルをコンピュータまたはネットワークで検索します。) ファイルを選択すると、ダイアログボックスのそのファイルに対する挿入箇所のオプションが有効になります。

プロローグ/エピローグファイルの編集

1. **[**プロローグ**/**エピローグ**]** ダイアログボックスで、リストからコマンドファイル名を選択し、**[**編集**]** をクリックします。テキストファイルを編集するため Windows のメモ帳が開きます。

2. ファイルの変更を行います。

3. ファイルを保存し、Windows のメモ帳を終了します。

参考： コマンドファイルを編集して保存すると、既存のローカルまたはネットワークファイルの内容は上書きされます。

プロローグ/エピローグファイルの削除

1. **[**プロローグ**/**エピローグ**]** ダイアログボックスで、リストから プロローグ/エピローグ ファイルの名前を選択して、**[**削除**]** をクリックします。

2. 削除を確認するボックスが表示されたら、**[**はい**]** をクリックして確認します。

参考： プロローグ/エピローグデータファイルからはファイル名だけが削除されます。ファイルそのものは削除されず、ネットワークまたはローカルコンピュータに残っています。

プロローグ/エピローグファイルの挿入

1. **[**プロローグ**/**エピローグ**]** ダイアログボックスで、リストから プロローグ/エピローグ ファイルの名前を選択します。

2. **[**挿入箇所**]** で、プロローグ/エピローグ ファイルを挿入する場所を選択します。

プロローグ/エピローグファイルの挿入解除

プロローグ/エピローグ ファイルを割り当て解除として指定すると、そのファイルは印刷ジョブから削除されます。ただし、ファイルはリストには残ったままです。割り当て解除を選択する機能は、リストに複数のプロローグ/エピローグ ファイルがある場合に、その一部だけを使用し、他は使用したくないときに便利です。

1. **[**プロローグ**/**エピローグ**]** ダイアログボックスで、リストから プロローグ/エピローグ ファイルの名前を選択します。

2. **[**挿入箇所**]** で、**[**なし［未設定］**]** を選択します。

挿入箇所の指定

挿入箇所は、選択された プロローグ/エピローグ ファイルがデバイスによって処理される印刷ジョブ内の場所です。コマンドファイルリストの各ファイルに割り当てることがで

きるのは 1 つの挿入箇所だけです。リストで プロローグ/エピローグ ファイルを選択した状態で、挿入箇所オプションを 1 つ選択します。

なし[未設定]

このオプションは、選択した プロローグ/エピローグ ファイルを印刷ジョブに挿入しません。これはリストに複数のファイルが含まれていて、これ以外挿入したくない場合に便利です。

文書のはじめ

文書の終わり

ページ記述言語 (PDL) として **[PCL 5e]** を選択した場合のみ、**[**ページの始め**]** と [ページの終わり**]** の挿入箇所オプションが使用できます。

ページのはじめ

ページの終わり

[ページのはじめ**]** または **[**ページの終わり**]** を選択した場合は、次のいずれかのページオプションを選択してください。

奇数ページに挿入

偶数ページに挿入

ページ指定

このオプションは、指定したページにファイルを挿入します。テキストボックスにページ番号をカンマで区切って入力するか、またはハイフンで区切ってページ範囲を指定します。

[ページ指定**]** オプションが選択されていて、数字を入力しないで **[OK]** をクリックすると、ページ番号を指定するよう求めるプロンプトが表示されます。

ウォーターマーク

ウォーターマークは目に見える画像またはパターンで、ページ上または文書全体に配置できます。標準のウォーターマークを 1 つ選択するか、または独自の文字列を作成できます。ダイアログボックスの左側のプレビュー領域には、ウォーターマークがどのように表示されるのかが示されます。これは、ウォーターマークの外観や場所などを変更したとき確認するのに便利です。

ウォーターマークの追加または編集

選択したテキストを表示する新規のウォーターマークを作成できます。すべてのウォーターマークは編集可能ですが、標準のウォーターマークに対しては一部の項目のみ編集できます。

1. **[**拡張機能**]** タブで、**[**ウォーターマーク**]** をクリックします。

2. **[**ウォーターマーク**]** ダイアログボックスで、**[**追加**]**をクリックしてユーザ定義のウォーターマークを作成するか、**[**ウォーターマーク選択**]** で、デフォルトまたは設定名を選択し、**[**編集**]** をクリックします。

3. **[**設定名**]** の下に、最大 39 文字の名前を入力します。標準のウォーターマークは、名前を変更できません。

4. **[**ウォーターマーク文字列**]** に、任意の文字列を入力します。標準のウォーターマークを編集しているときは、このオプションは使用できません。

5. 文字列のフォントやスタイル、色、サイズ、数とその間隔を設定します。

6 リストからウォーターマークの色を選択します。利用可能なオプションは、グレイと黒の色合いです。

7 ウォーターマークの **[文字列の位置]** で、ウォーターマークを印刷する位置を次のいずれかから選択します。

ページの中心 (デフォルト)

このオプションは、ウォーターマーク文字列の中心をページの中心に合わせます。

ユーザ定義

このオプションでは、x 軸と y 軸ボックスを操作して文字をページ内で移動します。

または、プレビュー領域の下にある位置ボタンをクリックして文字列の位置を変更できます。マウスをクリックして、ウォーターマークのイメージをポインタのドラッグ操作で移動できます。

8 **[文字列の角度]** を選択し、次のいずれかのオプションを使用してウォーターマークの角度を設定します。

対角線 [デフォルト]

このオプションは、ウォーターマークの文字列をデフォルトの角度でページに配置します。

角度

このオプションでは、角度の値を入力できます。角度は 0 から 360 度の範囲で設定できます。

または、プレビュー領域の下にある角度ボタンをクリックして文字列の角度を変更できます。マウスをクリックしたまま押下して、ウォーターマークのイメージをポインタのドラッグ操作で移動できます。

9 ダイアログボックスの右下にある **[中心を軸に回転]** チェックボックスでは、ウォーターマークの回転方法を設定できます。このオプションを有効にするには、**[文字列の位置]** で **[ユーザ定義]** を、**[文字列の角度]** で [角度] を選択する必要があります。**[中心を軸に回転]** チェックボックスにチェックを入れると、テキストの中央を支点にしてウォーターマークの角度を調整でき、チェックをはずすと、テキストの先頭を支点にして角度を調整できます。

10 設定が終わったら、**[OK]** をクリックして設定内容を保存します。

ウォーターマークのページ選択

[ウォーターマーク] の [ページ選択] オプションでは、文書のどの位置にウォーターマークを配置するかを選択することができます。

1 **[拡張機能]** タブで、**[ウォーターマーク]** をクリックします。

2 **[ウォーターマーク]** ダイアログボックスの、**[ウォーターマーク選択]** で、印刷するデフォルトまたはカスタムウォーターマークを選択します。

3 **[ページ設定]** で、ウォーターマークを印刷するページを選択します。

すべてのページ

このオプションは、文書の各ページにウォーターマークを印刷します。

最初のページのみ

このオプションは、文書の最初のページにウォーターマークを印刷します。

最初のページ以外すべて

このオプションは、最初のページの後、すべてのページにウォーターマークを印刷します。

指定したページ

このオプションは、ボックスに入力した番号のページにウォーターマークを印刷します。

表紙に印刷

このオプションは、表紙にウォーターマークを印刷します。表示への印刷は、**[表紙/合紙]** タブで 表紙付け を選択する必要があります。**[表紙付け]** と **[表紙の外面に印刷]** の両方が **[表紙/合紙]** タブで選択されていると、**[表紙に印刷]** は自動的に選択されます。

4 設定が終わったら、**[OK]** をクリックして設定内容を保存します。

セキュリティ･ウォーターマーク

[セキュリティ･ウォーターマーク] は、背景パターンにほとんど透けているような画像やテキストを印刷するプラグイン機能です。セキュリティ･ウォーターマークは、印刷ページをコピーした場合にのみ現れます。この機能により、コピーが禁止されている印刷ページを識別したり、元の印刷ページとコピーを区別することができます。標準では、6種類のテキストまたは画像のセキュリティ･ウォーターマークを使用することができますが、ユーザ独自のセキュリティ･ウォーターマークのテキストを作成することも可能です。

[セキュリティ･ウォーターマーク] の注目すべき機能は **[ガードパターン]** と呼ばれるもので、文書が不正にコピー、スキャン、ファックスされたり、メモリから印刷されるのを防ぎます。スキャン、ファックス、あるいはメモリからの印刷が試みられると、処理は停止し、プリントシステムの動作パネルにエラーメッセージが表示されます。

Product Library CD のプリンタドライバオプション ウィザードでは、プリンタドライバをインストールした後で セキュリティ･ウォーターマーク プラグインをインストールすることができます。

セキュリティ･ウォーターマークは、**[デバイス設定]**、**PDL**、**[PDLの選択]**、**[PCL XL]** の順に選択すると、**[詳細設定]** タブに表示されます。

管理者は、**[デバイス設定]** > **[管理者設定]** > **[セキュリティウォーターマークのロック]** を選択することによって、すべてのジョブで確実にセキュリティ･ウォーターマークを印刷できるようになります。

[セキュリティ･ウォーターマーク] を選択すると、これらのドライバ機能は次の値に設定されます。

- **[拡張機能]** タブの **[ウォーターマーク]**は、**[なし]** に設定されます。
- **[印刷品質]** タブの **[解像度]** は、**[600 dpi]** に設定されます。
- **[印刷品質]** タブの **[KIR]** は、**[オフ]** に設定されます。
- **[印刷品質]** > **[品質]** の **[エコプリント]** は、**[オフ]** に設定されます。
- **[印刷品質]** > **[グレイスケール]** > **[ユーザ定義]**の中のバランス調整（明るさおよびコントラストは 0 に設定）。

ネガティブイメージ印刷の設定は無効です。これらの設定が変更された場合、**[セキュリティ･ウォーターマーク]** の選択は **[なし]** に設定されて使用されません。

セキュリティ･ウォーターマークの追加または編集

画像ではなくテキストを表示させるセキュリティ･ウォーターマークを新規に作成することができます。デフォルトのセキュリティ･ウォーターマークは限られた数のオプション

しか変更できませんが、どのセキュリティ・ウォーターマークでも編集することは可能です。

1 **[**拡張機能**]** タブで、**[**セキュリティウォーターマーク**]** をクリックします。

2 **[**セキュリティウォーターマーク**]** ダイアログボックスで、**[**追加**]** をクリックして新しいウォーターマークを作成するか、または **[**ウォーターマーク選択**]** で、デフォルトまたはカスタムセキュリティウォーターマークを選択し、**[**編集**]** をクリックします。

3 **[**セキュリティウォーターマーク名**]** に、最大39文字の名前を入力します。デフォルトのセキュリティ・ウォーターマークは、名前を変更できません。

4 セキュリティウォーターマークの文字列 に、文字列を入力するか、空白のままにします。デフォルトのセキュリティ・ウォーターマークを編集しているときは、このオプションは使用できません。次のオプションから選択してください。

なし

このオプションは、空行のままにします。

ユーザ定義

このオプションでは、最大39文字までのテキストを入力することができます。

これ以外のすべてのオプションでは、ジョブの印刷時にコンピュータまたはプリンタドライバから取得した日付、時刻、またはその他のジョブ情報が表示されます。

5 文字列のフォントやサイズ、スタイル、角度を設定します。

6 ウォーターマークの文字列の1行目をページの下部に印刷する場合は、**[**フッターにも印刷**]** を選択します。リストからページの位置を選択します。このオプションは、セキュリティ・ウォーターマークそのものが印刷ページに正常に表示されない場合に便利です。

7 **[**背景パターン**]** で、セキュリティ・ウォーターマークの背景となるデザインを選択します。

標準パターン

セキュリティ・ウォーターマークの背景となるデザインを選択します。このオプションは、ウォータマーク文字列または画像を使用して選択したパターンを印刷します。

ドキュメントガードパターン

ドキュメントガードパターンは、セキュリティ・ウォーターマークの背景として表示されます。このオプションは、印刷されたページがコピー、スキャン、ファックス、あるいはメモリから印刷されたりするのを防ぎます。コピーが試みられると、灰色のコピーが作成されるようになっています。スキャン、ファックス、あるいはメモリからの印刷が試みられると、処理は停止し、プリントシステムの動作パラメータるにエラーメッセージが表示されます。

8 文書の内容がページ全体にわたっているMicrosoft PowerPointやInternet Explorerなどのアプリケーションの場合は、**[**上書き**]** を選択します。セキュリティ・ウォーターマークは文書データの上に重なって印刷されるため、印刷物の上にきちんと表示されるようになります。画像を編集している場合、または **[**デフォルト設定**]>[PDL**設定**]>[GDI**互換モード**]**が選択されている場合は、**[**上書き**]**が自動的に選択されます。

9 パターン補正を行います。パターン補正を行ったら、すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

セキュリティ・ウォーターマークのパターン補正

セキュリティ・ウォーターマークを効果的にするには、印刷した用紙ではほとんど見えないようにし、コピーした用紙ではっきり表示されるようにする必要があります。プリントシステムとドライバの設定は異なっていても構わないため、セキュリティ・ウォーターマークを印刷する前に、パターン補正を行わなければなりません。また、背景パターンを変更する場合、トナーまたはデバイスを交換する場合、負荷の高い印刷を行った後も、パターン補正を行うことをお勧めします。

1 セキュリティ・ウォーターマークの**[**追加**]** または **[**編集**]** ダイアログボックスでセキュリティ・ウォーターマークオプションをすべて選択したら、**[**パターン補正**]** をクリックします。

2 **[**パターン濃淡**]** および **[**テキストコントラスト**]** で、次の中から初期オプションを選択します。

薄く、普通、濃く

背景パターンの濃度を選択します。**[**セキュリティ・ウォーターマークの追加**]** または **[**ウォーターマークの編集**]** ダイアログボックスで ドキュメントガードパターン が選択されている場合、このオプションは使用不可となり、**[**普通紙**]** に設定されます。

コントラスト**1-9**

背景パターンに対するコントラストを、最も薄いレベルから最も高いレベルの中で選択します。

ここでの選択内容は、次の手順でサンプルを印刷すると変わる場合があります。

3 **[**サンプル印字**]** をクリックすると、選択したパターン濃淡で9種類のすべてのコントラストが表示されたページを印刷することができます。パターン濃淡の各オプションごとに、サンプルページを印刷することをお勧めします。

4 **[**テキストコントラストのサンプル**]** の中から、セキュリティ・ウォーターマークが最も写っていないサンプルを選びます。

5 **[**補正**]** ダイアログボックスで、手順4で選択したサンプルに一致するオプションを選択します。

6 設定が終わったら、**[OK]** をクリックして設定内容を保存します。

セキュリティ・ウォーターマークのページ選択

[セキュリティ・ウォーターマーク] のページ選択オプションは、印刷ジョブでセキュリティウォーターマークを配置する場所を指定します。

1 **[**拡張機能**]** タブで、**[**セキュリティ・ウォーターマーク**]** をクリックします。

2 **[**セキュリティ・ウォーターマーク**]** ダイアログボックスの **[**選択**]** で、印刷するデフォルトまたはカスタムのセキュリティ・ウォーターマークを選択します。

3 **[**ページ選択**]** で、セキュリティ・ウォーターマークを印刷するページを選択します。

すべてのページ

このオプションは、文書の各ページにセキュリティ・ウォーターマークを印刷します。

最初のページのみ

このオプションは、文書の最初のページにセキュリティ・ウォーターマークを印刷します。

最初のページ以外すべて

このオプションは、最初のページの後、すべてのページにセキュリティ・ウォーターマークを印刷します。

指定したページ

このオプションは、テキストボックスに入力した番号のページにセキュリティ・ウォーターマークを印刷します。

表紙に印刷

このオプションは、表紙にセキュリティ・ウォーターマークを印刷します。このオプションは、**[表紙/合紙]** タブで **[表紙付け]** が選択されている場合に使用可能です。**[表紙付け]** と **[表紙に印刷]** の両方が **[表紙/合紙]** タブで選択されていると、**[表紙に印刷]** が自動的に選択されます。

4 設定が終わったら、**[OK]** をクリックして設定内容を保存します。

セキュリティウォーターマーク設定のロック

管理者は、選択したセキュリティウォーターマークをロックすることによって、すべてのジョブでセキュリティウォーターマークを印刷することができます。

1 **[拡張機能]** タブで、セキュリティウォーターマークオプションを選択して位置調整を行います。

2 **[デバイス設定]** 、**[管理者設定]**、**[セキュリティ設定のロック]** の順に選択します。

3 **[セキュリティ設定のロック]** ダイアログボックスに、4 から16 文字のパスワードを入力し、確認のため再度入力します。

4 設定が終わったら、**[OK]** をクリックして設定内容を保存します。

セキュリティウォーターマークのロックを解除するには、**[セキュリティ設定のロック]** をオフにして、パスワードを入力します。

セキュリティウォーターマークを一時的にロック解除して設定を変更するには、**[拡張機能]** 、**[セキュリティウォーターマーク]**の順に選択し、**[ロック解除]** をクリックしてパスワードを入力します。設定を変更した後、セキュリティウォーターマークは、**[デバイス設定]** 、**[管理者設定]** でロック解除されるまでロックされたままになります。

ステータスモニタの構成

ステータスモニタ は、印刷中ウィンドウの右下にプリントシステムのステータスメッセージを表示します。サポートされている各プリントシステムごとにステータスモニタを起動できます。同時に複数のステータスモニタを表示できます。

1 **[拡張機能]** タブで **[ステータスモニタ]** をクリックします。

2 印刷ジョブ中にステータスモニタのイメージを表示させる場合は、**[ステータスモニタ]** ダイアログボックスで、**[ステータスモニタ]** チェックボックスをオンにします。

3 ステータスモニタ の設定を変更しないで印刷ジョブのステータスを表示するには、**[ステータスモニタを起動]** をクリックします。

パソコン画面の右下に ステータスモニタ のイメージが表示されます。

4 ポインタを ステータスモニタ イメージの上に移動すると、プリントシステムの状態およびプリンタポートに関する情報を含むポップアップのステータスメッセージが表示されます。

5 オプションの一覧を表示するには、システムトレイの **[**ステータスモニタ**]** アイコンを右クリックします。

- ステータスモニタを表示/非表示

  ステータスモニタ イメージの表示と非表示を切り替えます。

  参考: または ステータスモニタ イメージの上で右クリックして、[ステータスモニタを非表示にする] をクリックしても非表示にできます。あるいは、5 分間印刷状態が何もなければ自ら ステータスモニタ を閉じます。

- プリントシステムの設定

  Web ブラウザを開いてプリンタの Web ページを表示するには、**[**プリントシステムの設定**]** をクリックします。プリントシステムの印刷解像度およびスリープタイマの機能を設定できます。

  参考: プリンタがUSB ケーブルに接続されている場合は、この機能は使用できません。プリンタの操作パネルから設定を行ってください。

- ステータスモニタの設定

  ステータスモニタ の音による通知およびデザイン選択に関するオプションのダイアログボックスを開くには、**[**設定**]** をクリックします。

- **www.kyoceramita.com**

  www.kyoceramita.comをクリックすると、Webブラウザで京セラミタのホームページが開きます。

- アプリケーションの終了

  ステータスモニタ を閉じるには、**[**終了**]** をクリックします。

ステータスモニタの設定

[ステータスモニタの設定**]** ダイアログボックスで、サウンドや音声と一緒にプリントシステムの警告を設定できます。またステータスモニタのイメージを変更することもできます。

1 システムトレイでステータスモニタアイコンを右クリックします。

2 **[**設定**]**をクリックします。

3 **[**音声通知**]** タブをクリックします。

4 **[**イベントの通知を有効にする**]** チェックボックスをオンにします。

5 ステータスモニタ警告を表示するイベントを選択します。

- カバーオープン
- 紙づまり
- 用紙切れ
- スリープ

- トナー切れ
- トナー残量少
- 未接続
- 印刷中
- 印刷完了

6 **[音声通知]** タブで、選択した警告にサウンドまたは音声を追加できます。

サウンドファイルを追加する:

[音声合成を使用する] チェックボックスをオフにします。

サウンドファイルテキストボックスが使用可能になります。サウンドファイル (.wav) の場所を入力するか、または参照してコンピュータに保存されているファイルを見つけます。

スピーチを追加する:

[音声合成を使用する] チェックボックスをオンにします。

テキストボックスに任意のテキストを入力します。Microsoft の音声合成ユーティリティによって入力したテキストが読み込まれ、音声によって再生されます。

7 ステータスモニタ イメージのサイズ、配置、および透明度を変更するには、**[表示]** タブをクリックします。

ウィンドウ拡大

選択すると、ステータスモニタ イメージとテキストバルーンのサイズを 2 倍に拡大します。

常に手前に表示

選択すると、ステータスモニタ を、他の開いているウィンドウの中で常に一番手前に表示します。

透明度

このオプションは、イメージを通して表示される背景の透明度を ステータスモニタ で調整できるようにします。ボックスに 0 から 50 までの値を入力します。値が大きいほど透明度も高くなります。値に 0 を指定すると完全に不透明なイメージとなります。

8 **[設定]** ダイアログボックスで、設定を保存するには **[適用]** をクリックし、設定を保存してダイアログボックスを閉じるには **[OK]** をクリックし、または設定を保存しないでウィンドウを閉じるには **[キャンセル]** をクリックします。

EMFスプール

エンハンスメタファイル (EMF) は、Microsoft Windows オペレーティングシステムによる印刷で使用されるスプールファイル形式です。アプリケーションから印刷ジョブが送られると、ジョブはスプールファイルに転送されます。アプリケーションはスプールファイルに書き込み、プリンタドライバは同時にスプールファイルから読み取ります。複数の文書や大量の文書を印刷する場合、この機能を使用すると、プリンタがまだ文書を印刷している間でもユーザはアプリケーションに素早く戻ることができます。

EMF スプールを使って印刷するには、**[拡張機能]** タブで、**[EMF スプール]** チェックボックスをオンにします。通常どおり、印刷処理を続行します。

参考: EMF スプールは、**[KPDL 詳細設定]** ダイアログボックスで **[パススルーモード]** が選択されている場合は使用できません。

10 プロファイル

プロファイルを使用すると、プリンタドライバ設定をプロファイルとして保存できます。[簡単設定] および [印刷設定] タブで複数のオプションを選択し、プロファイルに保存して、プロファイルに適用するときにこれらをすべて一括で使用できます。初期設定 プロファイルも含めて、1 つのドライバに最大26 のプロファイルを作成できます。[デバイス設定] タブで設定したデバイスオプションは、プロファイルには保存できません。

これらの機能は、[プロファイルの選択] ダイアログボックスで使用可能です。

プロファイルの追加

[追加] ボタンを使用して独自のプロファイルを作成することができます。プロファイルには、ドライバの現在の設定がすべて含まれます。プロファイルを使用すると、すべての設定を再選択する必要がなくなり、同じタイプの印刷ジョブを繰り返し印刷することができます。[プロファイル設定] ボタンは、[印刷設定] の下のすべてのタブの下部に表示されます。

1 [印刷設定] を開き、すべての設定を行い、印刷ジョブ用の印刷オプションを設定します。

2 [プロファイル設定] > [追加] をクリックします。

3 プロファイルを識別するため、名称を入力し、アイコンを選択して、コメントを入力します。

4 **[OK]** をクリックしてプロファイルを保存します。

新しく追加されたプロファイルが、**[**プロファイル設定**]**ダイアログボックスに表示されます。

5 **[**適用**]** をクリックして選択されたプロファイルを現在の印刷ジョブで有効にするか、または **[OK]** をクリックしてプロファイルを追加します。

参考: プリンタドライバをデフォルト設定にリセットするには、初期設定 プロファイルを選択し、[適用] をクリックします。プロファイルの設定は消去され、初期設定に戻ります。

プロファイルの編集

[編集**]** ボタンを使用して既存のプロファイルを変更できます。**[**初期設定**]** オプションは編集できません。

1 **[**プロファイル設定**]** をクリックします。

2 **[**プロファイルの選択**]** セクションで、編集するプロファイルを強調表示し、**[**編集**]** をクリックします。

3 [名称]、[アイコン] 、および[コメント] の3つのオプションは編集できます。**[OK]** をクリックして編集した変更を保存します。

新しく編集されたプロファイルが、**[**プロファイル設定**]**ダイアログボックスに表示されます。

4 **[**適用**]** をクリックして選択されたプロファイルを現在の印刷ジョブで有効にするか、または **[OK]** をクリックしてプロファイルを保存します。

プロファイルの削除

[削除**]** ボタンを使用して、既存のプロファイルを削除できます。初期設定 プロファイルは削除できません。

1 **[**プロファイル設定**]** をクリックします。

2 **[**プロファイルの選択**]** セクションで、削除するプロファイルを強調表示し、**[**削除**]** をクリックします。

3 プロファイルの削除を確認するメッセージが表示されます。**[**はい**]** をクリックして削除します。

4 **[OK]** をクリックして **[**プロファイル設定**]** ダイアログボックスを閉じます。

プロファイルのインポート

[インポート**]** ボタンを使用して、プロファイルのコピーを他のプリンタドライバからお使いのプリンタドライバにインポートできます。

1 **[**プロファイル設定**] > [**インポート**]** の順にクリックします。

2 既存のプロファイル (.KXP) を参照して選択し、**[**開く**]** をクリックします。

インポートされたファイルの中に、既存のドライバでは使用できないプロファイル設定が含まれている場合はメッセージが表示されます。プロファイルをインポートするには **[**はい**]** 、インポートをキャンセルするには **[**いいえ**]** をクリックします。

3 前の手順で **[**はい**]** を選択した場合、**[**プロファイル**]**ダイアログボックスに新しくインポートされたファイルが表示されます。

4 **[**適用**]** をクリックして選択されたプロファイルを現在の印刷ジョブで有効にするか、または **[OK]** をクリックしてプロファイルを保存します。

プロファイルのエクスポート

[エクスポート**]** ボタンを使用して、プロファイルのコピーをお使いのプリンタドライバから他のプリンタドライバにエクスポートできます。(**[**初期設定**]**オプションは編集できません。)

1 **[**プロファイル設定**]**をクリックします。

2 **[**プロファイルの選択**]**セクションで、エクスポートするプロファイルを選択し、**[**エクスポート**]**をクリックします。

3 **[**プロファイルのエクスポート**]**ダイアログボックスが表示されます。プロファイルに名前を付けて保存します。

4 **[OK]** をクリックして **[**プロファイル設定**]** ダイアログボックスを閉じます。

KYOCERA お客様相談窓口のご案内

京セラミタ製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラ ミタ株式会社
京セラ ミタジャパン株式会社

〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1-9-15

http://www.kyoceramita.co.jp

©2009 京セラミタ株式会社

KYOCERA は京セラ株式会社の登録商標です。

Rev. 9.0 2009.3